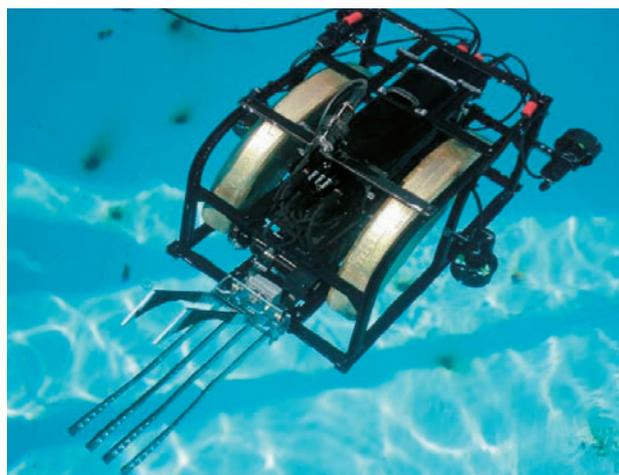


立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

# 地域連携事例集

2016.4-2017.3

Case File of Regional Collaboration at Biwako-Kusatsu Campus, Ritsumeikan University





# 立命館大学びわこ・くさつキャンパス地域連携事例集 2016.4-2017.3の発行にあたって

立命館大学びわこ・くさつキャンパス (BKC) は、1994年に開学し、当初より「地域に開かれたキャンパス」を目指し、滋賀県、草津市をはじめ多くの方々にご支援をいただきながら地域との連携事業に取り組んで参りました。これまでも研究、正課、課外活動を通じ環境、産業振興、文化、健康・スポーツ、交通政策など様々な分野での連携を全学の教職員や学生達が進めております。特にBKCが位置する草津市では2016年8月に「健幸都市宣言」がなされ、本学としても心身の「健幸」を目指す研究や取組みを地域と共に実施しています。また、BKCには2016年9月に「BKCスポーツ健康 commons」が完成し、今後健康づくりの拠点として地域の方に広くお越しいただけるよう準備を進めております。

学生達は、地域課題解決のためのフィールドワークの実施や「みなくさまつり」など多くのイベントに参加し、滋賀県や草津市の活性化を担って来ております。この学生達と地域の方々がかんぱす内外で交流し、学生らを育てていただいております温かい環境は、学生らにとって滋賀県、草津市が第二の故郷になるものと考えています。

2014年からは「BKC地域連携室」ができ、BKCでの地域連携の窓口としての役割を果たすことはもちろん、活動内容を広く情報発信すべく「事例集」の発行を継続しております。本事例集は、本学が地域で学び、地域とともに成長したいという思いから、教職員そして学生達の2016年度の実践を集成しております。全ての事例を網羅できていない部分があるかとは存じますが、BKCの実践の様子をお伝えできればと考えています。

今後さらに地域の発展、そして本学の学びや研究の場の広がりのために行政、企業、地域の方々と協同し、連携事業に取り組んで参りますので、引き続きご支援、ご協力をお願いするとともに、様々なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

2017年3月

立命館大学 学長補佐・BKC地域連携室長 岡本直輝

# 立命館大学びわこ・くさつキャンパス地域連携事例集2016-2017

## 目次

ページ		学生生活	キャンパス・教育	学生の活躍	研究	産学官連携	グローバル	地域連携	社会・カルチャー	スポーツ&チャーター	キャリア・就職
<b>Topics</b>											
8	草津市と立命館大学と株式会社滋賀銀行との三者による包括連携に関する協定書										
9	第24回参議院議員選挙投票促進啓発活動										
<b>正課の活動</b>											
10	経済学特殊講義Ⅱ（映像制作を通じて考えるキャリアデザイン演習）										
11	地域参加学習入門										
12	シチズンシップ・スタディーズⅠ（農業から地域を元気に！）										
13	シチズンシップ・スタディーズⅠ（つながる高島・伝統を未来へプロジェクト）										
14	シチズンシップ・スタディーズⅡ（G1）～地域に開かれたキャンパスづくり～										
15	湖上で学ぶ！琵琶湖体感クルーズ										
<b>教育支援</b>											
16	薬学部・理工学部×玉川小学校「マイドリームスペシャル授業」～大学生活を体験しよう！～										
17	くさつビブリオバトル2016										
<b>生涯学習支援・地域貢献活動</b>											
18	2016年度立命館びわこ講座～近江を学ぶ、草津を識る～										
19	「びわ湖の日」連続講座～自然と暮らしの接点、滋賀の食を考える。～										
20	あいこうか生涯カレッジ										
21	滋賀県地域情報化推進会議										
22	防災カフェ・防災科学研修										
23	山田ウォーキング・健康バンド講座～山田学区での取組み～										
24	健康ウォーキングの実施～笠縫東学区での取組み～										
25	健康リーダー育成講座～笠縫東学区での取組み～										
<b>研究活動</b>											
26	琵琶湖Σ研究センター										
27	拠点形成型R-GIRO研究プログラム食料研究拠点「農水産業の6次産業化による新食料研究拠点」										
28	センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム「運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点」										
29	志摩市6次産業化推進事業における「隼人芋の増産に関する調査研究」										
30	「あいの土山 道の駅」再生・地域活性化拠点形成計画										
<b>学生の課外自主活動</b>											
31	寺脇拓ゼミ有志団体「歴史景観の町 近江八幡 インバウンド観光振興プロジェクト」										
32	高島地域活性化プロジェクト「高島ワークキャンプ」										
33	出あいプロジェクト（地域と出あう、地域の人と出あう）										
34	立命の家										
35	市民ふれあい秋まつり in くさつ「パワフル交流・市民の日」										
36	ペットボトルキャップ回収を通じた環境保全活動										

ページ		キャンパス・学生生活	教育	学生の活躍	研究	産学官連携	グローバル	地域連携	社会・カルチャーツ&	スポーツ&	キャリア・就職
37	草津をSwingする町へ！！										
38	ツリーハウスからはじまるつながりの輪										
39	岩手県大船渡市「碁石海岸観光まつり」										
40	福井県若狭町「熊川いっぴく時代村」										
41	環境クリーン・ウォーキング大作戦～地域清掃活動～										
<b>地域交流</b>											
42	留学生による草津市内小・中学校との交流活動										
43	冬の国際交流企画「異文化フェスティバル」										
44	BKCインターナショナルハウス（BKC国際寮）と近隣住民の皆様との国際交流「Regional Exchange Party」										
45	新宮神社例祭～御神輿担ぎ手としての参加～										
46	大津市「100回ミーティング」への参加～留学生と留学生支援学生が市長と対話～										
47	真夏のワクワク体験！～SO-AIプロジェクト2016への参画～										
48	第6回みなくさまつり ～えんでつなぐみなみくさつ～										
49	2016玉川萩まつり～すきです玉川 わたしも参加 つくるよろこび～										
50	ジュニアスポーツフェスティバル KUSATSU 2016										
51	草津市駅伝競走大会										
52	Song-genics（学友会 学芸総部 任意団体）										
53	アコースティックギターサークル（学友会 登録団体）										
54	体育会ヨット部 チャレンジヨット in Biwako										
55	体育会ラグビー部 ラグビークリニック										

<b>BKCで活動する学生団体</b>	
56	BKCで活動する学生団体リスト
<b>BKC地域連携事例リスト</b>	
58	正課の活動
60	教育支援・生涯学習支援・地域貢献活動
63	地域経済社会と連携した研究活動
64	学生の課外自主活動、ボランティア1日体験型プログラム
65	地域交流活動（留学生）
66	地域交流活動（学生団体）
73	地域交流活動（体育会団体）
74	索引（主な連携先）
75	索引（主な活動地域）
76	学生団体との地域交流のお申込みについて
78	BKCへのアクセス





## BKC地域連携 おもな事例のご紹介

# 草津市と立命館大学と株式会社滋賀銀行との三者による包括連携に関する協定書

## 本学担当

BKCキャリアオフィス、BKC教学課、  
BKCリサーチオフィス、  
BKC地域連携課

## 主な連携先

草津市、株式会社滋賀銀行

## 活動期間

2016年度から

## 主な活動地域・場所

草津市、滋賀県 など

## 活動内容

草津市と株式会社滋賀銀行、本学は包括協定を2016年12月19日に締結いたしました。既に草津市と本学とは2003年に「草津市と立命館大学との連携協力に関する協定書」をかわしておりますが、今回はさらに株式会社滋賀銀行を加えた三者による協定ということで、それぞれが有する人的・物的・知的資源を有効に活用して協力することにより、農水産業、商工業、観光物産振興等をはじめとする地域経済の活性化およびまちづくりの推進に向けた取組みを実施することを目的としています。



調印式の様子

## これまでの成果

想定される協定事項は以下の通りです。（協定書より抜粋）

- ・地域経済の活性化およびまちづくりの推進に関する事項
- ・雇用の推進および人材育成に関する事項
- ・その他、三者が協議して必要と定める事項

特に本学においては、人材育成の観点から、草津市や株式会社滋賀銀行のご協力のもと、学生と地元企業との連携といった形で具体的な事業を実施することを目指したり、本学の研究や知見を活かした事業の展開を進めていきます。

## 今後の課題・目標

既に草津市や株式会社滋賀銀行と実施している事業については今後も継続・発展させることはもちろん、三者が協働する具体的な事業の実施へ向けて取り組み、地域経済の活性化およびまちづくりの推進に寄与できるよう尽力していきます。



# 第24回参議院議員選挙投票促進啓発活動

## 本学担当

投票促進学生ボランティア  
(自主ゼミ団体衣笠じゅく)、  
BKC地域連携課

## 主な連携先

草津市選挙管理委員会

## 活動期間

2016年度

## 主な活動地域・場所

草津市、BKC など

## 活動内容

2016年6月、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた改正公職選挙法が施行されました。それを受け、自主ゼミ団体「衣笠じゅく」のメンバーが、草津市選挙管理委員会(以下、市選管)に依頼したことを契機に、第24回参議院議員通常選挙の際に「期日前投票所および不在者投票所」(以下、期日前投票所)がBKCに設置されることとなりました。そこで、若年層の投票率向上も目指す市選管が本学内にて「投票促進学生ボランティア」を募集し、集った学生有志と協働しながら、学内での広報活動や勉強会、啓発運動等を実施しました。

## これまでの成果

広報活動においては、市選管のご協力のもと、学生自らが訴えかけるメッセージ「国に届けー学生の声 投票に僕らが行かなきゃもったいない」を掲載した看板を学内に設置。その他、横断幕やチラシ配布、不在者投票の方法に関する勉強会等の実施、前日には学内にて「啓発うちわ」を配布するなど、学生の主体的な政治参加を呼びかけました。7月7日、8日と設けられた期日前投票所の利用者は市選管が目標としていた人数を上回り、学生を中心に、教職員や近隣にお住まいの方々にもご利用いただくこととなりました。

## 今後の課題・目標

これまであまり協働する機会がなかった市選管との初めての活動で一定の成果はありましたが、今回の活動を契機に選挙権を持つ全ての学生が、社会を構成する一員としてその権利を行使するだけでなく、主体的な政治参加をできるように、今後も働きかけたいと思います。



学生デザインの啓発看板



キャンパスに掲げられた横断幕



前日配布した啓発うちわ



「ユニオンスクエア」に設けられた投票所



教育



学生の活躍



社会・地域連携



就職・キャリア

## 正課の活動

# 経済学特殊講義Ⅱ (映像制作を通じて考えるキャリアデザイン演習)

**本学担当**

経済学部  
教授 紀國 洋  
教授 中村 健

**主な連携先**

草津市 職員課・企画調整課、  
読賣テレビ放送株式会社、  
株式会社エイデック

**活動期間**

2016年度から

**主な活動地域・場所**

BKC、草津市

## 活動内容

大学の学びを充実させ、自らの進路を開拓していくためには、自立的、主体的に考え行動するための「生きる力」が重要です。そこには、他者に共感しつつ自らを表現する力、情報を収集し発信する力、課題を発見し、探求し、解決する力など様々な能力が含まれます。本演習は、読賣テレビ放送株式会社、株式会社エイデック、草津市役所の協力を得て、学生が映像ドキュメンタリーを制作することを通じ、「生きる力」に関連する諸能力を涵養しつつ、現在をどう過ごし、将来をいかに生きるかといったキャリア感を形成することを目的として開講されました。今年度は題材としてBKCの最も身近な地域である草津市を取り上げ、「出会いがあるまち草津」をコンセプトに映像ドキュメンタリーを制作しました。

## これまでの成果

学生は4つのグループに分かれ、放送関係者の方に技術的な指導をいただきながら「“出会い”があるまち草津」をコンセプトに制作にとりかかりました。草津市を知るきっかけとして企画調整課の方に講義をしていただき、映像コンセプト発表時には職員課の方にアドバイスをいただきました。学生たちは地域での取材を進める中で、協力して成果をまとめることや、表現方法の検討に苦戦しつつも、それぞれが感じた街や人々の魅力が詰まった作品を創りあげました。制作した映像テーマは以下の通りです。

- ・クリスマスブーツ～子どもの夢を入れて～
- ・草津宿の魅力とは？
- ・障がい者福祉施設（すまいる）での出会い
- ・旧草津川～時の流れと共に～

## 今後の課題・目標

経済学部の学生にとっては「映像」作品を創ることに手間取ることもありましたが、グループで協働する中で多くの気づきと学びを得ることができました。地域の人々との出会いの中で、学生たちは前述した様々な力を身につけてくれたと確信しています。結果として、今回の映像作品を、草津市の職員研修等でも使用いただくこととなりました。一方で、多くの人に見てもらえるような作品に仕上げるには、撮影技術・編集技術の訓練が必要であることが分かりました。次年度は技術的な訓練にも時間を割きたいと思います。今後も、こういったPBLでの学びを深める中で地域経済社会への貢献をできるような取組みを継続していきたいと考えています。



企画調整課の方による講義



テーマ発表をする学生とアドバイスする株式会社エイデック、草津市職員課の方々



上映前に映像テーマを語る学生



草津川跡地の桜の様子



## 正課の活動

## 地域参加学習入門

## 本学担当

共通教育推進機構  
講師 宮下 聖史

## 主な連携先

草津市コミュニティ事業団、滋賀県琵琶湖保全再生課、滋賀県社会福祉協議会、くさつ未来プロジェクト、REFLE.、UDCBK 他

## 活動期間

2016年度

## 主な活動地域・場所

BKC

## 活動内容

私たちが生きていく上で、家族や職場、地域といったコミュニティは切っても切れない存在です。そしてこうしたコミュニティの形は時代とともに大きく変化しています。この授業では、私たちの生活とコミュニティのあり方に関心を寄せ、現代のコミュニティの「危機と多様化」について理解すると同時に、私たちがコミュニティの一員としての自覚をもつことの意義について学んでいます。多様なゲストをお招きし、地域づくりや貧困問題、ワークライフバランスや子育てなどに関する現場での活動や経験についてお話いただいていることもこの授業の特長です。

## これまでの成果

受講生の皆さんには、毎回フィードバックシートに記載をしてもらっています。その結果、地域への参加、あるいは就職や結婚、妊娠・出産・子育てといった近い将来のライフイベントに関して多くの受講生に関心を持ってもらえたことが明らかとなりました。それに加えて授業内で紹介した地域活動やイベントにのべ人数で100名程度参加してもらえたことなどが主な成果です。

## 今後の課題・目標

地域への参加の意義や近い将来のライフイベントに関わる共感の広がりという意味では、一定の成果がありますが、受講生の数に比べると、実際の活動に参加してくれた受講生は依然少数であり、ここのすそ野を広げていくことが今後の課題となっています。



授業の様子 (1)



授業の様子 (2)



授業の様子 (3)



教育



学生の活躍

社会・  
地域連携

## 正課の活動

シチズンシップ・スタディーズⅠ  
(農業から地域を元気に!)

## 本学担当

共通教育推進機構  
講師 宮下 聖史

## 主な連携先

草津市農林水産課、JA草津市

## 活動期間

2016年度

## 主な活動地域・場所

JA草津市農畜産物交流  
センター草津あおばな館  
ほか

## 活動内容

草津農業を地域に広め、かつ草津野菜を通じて地域とつながることを目的として活動を行いました。JA草津市が経営するあおばな館の横に畑をお借りして、SOFIX有機農法を用いてほうれん草と小松菜を栽培したり、生産者のお宅にホームステイをして農家の生活を学んだりしました。また、みなくさまつりに出店し、SOFIX有機農法によるトマトとそうでないトマトの食べ比べを実施しました。



活動の様子 (1)

## これまでの成果

ほうれん草を使ったキッシュを作りました。これはくさつ☆パールプロジェクト主催の「帰省で自慢!草津のお土産を作ろう (レシピコンテスト)」でレシピ部門「つくりたいで賞」を受賞しました。環びわ湖大学・地域コンソーシアム主催の「環びわ湖 大学地域交流フェスタ2016」での報告は、来場者からの投票により活動奨励賞を受賞しました。



活動の様子 (2)

## 今後の課題・目標

農作物の栽培は今年度初めての取り組みでしたので、生産計画の立案や実際の栽培に苦労しました。来年度はこの教訓を活かして栽培を行うと同時に、生産地である草津市北山田地区の地域課題や農業従事者の生活課題に関わる実態調査を行いたいと考えています。



活動の様子 (3)

正課の活動

# シチズンシップ・スタディーズI (つながる高島・伝統を未来へプロジェクト)

**本学担当**

共通教育推進機構  
講師 宮下 聖史

**主な連携先**

高島市市民協働課、  
高島市社会福祉協議会

**活動期間**

2016年度

**主な活動地域・場所**

高島市勝野区・竜地区

## 活動内容

高島市地域おこし協力隊隊員を主な受け入れ先として、高島市勝野区・竜地区にて住民との交流やフィールドワークを行いました。高島市社会福祉協議会にて住民の自治的活動についてヒアリングを行ったり、メンズサロンや防災訓練といった地域活動に参加したり、住民の方々にアンケート調査を行ったりしました。市役所へのヒアリングも含めて、竜地区での防災対策の現状と課題を総合的に把握し、防災キャンプの実施を提言しました。



活動の様子 (1)

## これまでの成果

地域にとってよそ者である学生がたびたび訪問し、住民との交流を深めていったことは、訪問先の住民の方々にとっても、よい刺激となったようです。学生にとっては、受け入れ先との連絡調整をはじめとしてこのプロジェクトに関わる方々とのコミュニケーションについて、また地域を構成する諸団体の間での意志統一のあり方などにおいて、その大切さと難しさを身をもって学びました。諸団体の連携強化を目的とした防災キャンプの提案は、かかる知見から引き出されたものです。



活動の様子 (2)

## 今後の課題・目標

高島市の多様な団体と連携を図りながら、自らの活動内容と意義を見定め、継続的に活動を行っていくことが今後の課題です。



活動の様子 (3)



教育



学生の活躍

社会・  
地域連携

## 正課の活動

シチズンシップ・スタディーズⅡ (G1)  
～地域に開かれたキャンパスづくり～

## 本学担当

共通教育推進機構  
講師 宮下 聖史

## 主な連携先

桜プロジェクト  
(桜ヶ丘町内ボランティア団体)

## 活動期間

2016年4月から8月

## 主な活動地域・場所

桜ヶ丘地区、BKC

## 活動内容

サービスマーケティングセンター開講の正課科目であり、受講生17名が取り組みました。コンセプトは「地域に開かれたキャンパスづくり」です。BKCの近隣地域である桜ヶ丘地区の住民の方々にBKCをより身近に感じてもらうための企画を行い、学生と住民の交流を通じて地域に密着したキャンパスづくりの実践を試みました。具体的には桜ヶ丘地区で活動する桜プロジェクトの皆さまをBKCキャンパスにお招きして健康クリニックやこもれび池活用の提案と議論、BKCウォークなど合宿形式の講演会・交流会を行いました。



活動の様子 (1)

## これまでの成果

健康クリニックの実施を通じて、合宿に参加していただいた桜ヶ丘住民の方々の生活課題として関心の高かった健康問題について学ぶことができました。同時に参加者の皆さんには講師が行う今後の研究の被験者として協力していただけることになりました。こもれび池の活用の提案についても、解決策の提案とそれが実際に有効かどうかについて、受講生と桜ヶ丘住民にて意見交換を行うことにより、大学がもつ専門知識や人材が地域課題の解決に寄与しうることを実践的に示すことができました。加えて七夕企画などの交流を通じて相互理解を深め、今後のさらなる地域連携の足がかりを築くことができました。



活動の様子 (2)

## 今後の課題・目標

大学の専門知識や資源を活かして桜ヶ丘地区での地域課題や生活課題の解決に寄与することに貢献できましたので、今後はこれらの成果を踏まえてさらに地域貢献や交流を深めていくことが課題であると考えています。



活動の様子 (3)



## 正課の活動

## 湖上で学ぶ！琵琶湖体感クルーズ

## 本学担当

共通教育推進機構 講師 宮下 聖史、  
サービスラーニングセンター、  
BKC地域連携課

## 主な連携先

滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課

## 活動期間

2016年度から

## 主な活動地域・場所

琵琶湖

## 活動内容

2015年9月に施行された「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」により、琵琶湖が「国民的資産」と位置づけられた中、滋賀県で学ぶ立命館大学生が、日本最大の湖であり、京阪神地域1,450万人の命の水源となっている「琵琶湖」について、実際の体験を通じて理解を深めることを目的に2016年度に初めて正課授業の一環としての琵琶湖体験企画が実施されました。

## これまでの成果

2016年10月15日（土）、本学学生60名が参加し、以下の行程により琵琶湖について体験しながら学習しました。

・大津港より環境学習船「megumi」に乗船



船内講座「琵琶湖と鮎とふなずし」（琵琶湖博物館学芸員）



・沖島到着



地引き網体験（地元漁師さんによる指導）



昼食（地元「湖島婦貴（ことぶき）の会」さんによる湖魚料理をメインとした昼食）、  
島内散策



・沖島出発



船内プログラム「島内視察についての振り返り」  
（立命館大学サービスラーニングセンター 宮下聖史講師）



・烏丸半島到着、琵琶湖博物館見学



megumiで沖島へ



地引き網体験



湖魚料理の昼食

## 今後の課題・目標

今後も、学生が琵琶湖について理解を深められる機会を提供できればと考えています。



教育



学生の活躍



研究



社会・地域連携

## 教育支援

薬学部・理工学部×玉川小学校「マイドリームスペシャル授業」  
～大学生生活を体験しよう!～

## 【本学担当】

薬学部 助教 河野 裕允、  
理工学部 教授 小西 聡、  
立命館グローバル・イノベーション研究  
機構 准教授 服部 浩二

## 【主な連携先】

草津市立玉川小学校

## 【活動期間】

2015年度から

## 【主な活動地域・場所】

BKC

## 活動内容

昨年度より実施されている本企画は、JR南草津駅からBKCの間に位置する草津市立玉川小学校の6年生児童を対象に、BKCでの授業体験や施設見学、学食体験を通じて大学や大学生に対する「憧れ」を持ってもらおうと企画されたもので、学習意欲の向上にも繋がることと好評をいただいております。

本企画を中心的に進める河野裕允助教が草津市立玉川小学校の学校薬剤師を勤め、普段から交流があることから実現し、さらに今年度は、河野裕允助教が共同研究を行う小西聡教授、服部浩二准教授も参画することで理工学部の研究にも触れられる企画となりました。

## これまでの成果

大講義室での薬物乱用防止講演会からスタートした当日。始めは緊張した雰囲気でしたが、続く大学生との交流タイムで打ち解け、その後クラス毎に「薬学部体験」、「理工学部体験」、「学食体験」、「キャンパス見学」の4行程を行いました。本学の施設や研究を見ていただくだけでなく、その研究がどう社会に役立っているのか、また学びを深めるためにはいろいろなことにチャレンジしたり、「なぜ」と疑問を持つことが重要であることなどが語られると児童のみなさんは真剣なまなざしでした。最後に新設の「BKCスポーツ健康 commons」を見学し、帰路につきました。実施後のアンケートでは「薬剤師になりたい」「ロボットがすごかった」「学食がおいしかった」といった感想を多くいただき、「学生生活」を体験したことで「大学」への憧れを持っていただけたのではないかと思います。

## 今後の課題・目標

昨年度の薬学部体験に加え、今年度は理工学部からも教員、学生、院生が多数参画しました。普段研究を中心に生活を送る学生達としても、自分たちの研究等について分かりやすく説明したり、多くの方とコミュニケーションをとることは将来社会に出た時に役に立つということで、学生達にとっても有意義な一日であったのではないかと思います。

普段お越しいただく機会がまだまだ少ないキャンパスを直接見ていただくだけでなく、今回のようなBKCでの研究を活かした取組みを継続していきたいと考えています。



河野助教による薬物乱用防止講演会



薬を用いた実験



理工学部の学びについて説明する小西教授



小西教授が開発したマイクロロボット「みゅーたん」体験版



学食体験

## 教育支援

# くさつビブリオバトル2016

### 本学担当

生命科学部 准教授 木村 修平  
(実行委員長)、  
BKC地域連携課(事務局)

### 主な連携先

草津市教育委員会

### 活動期間

2013年度から現在

### 主な活動地域・場所

みなくさまつり会場  
(フェリエ南草津5階 市民  
交流プラザ)

## 活動内容

ビブリオバトルは、出場者がおすすめの本の魅力を5分で紹介し、観覧者との質疑応答を2、3分行ったうえで、全員で「どの本が一番読みたくなったか?」を基準に投票し、「チャンプ本」を決めるコミュニケーションゲームで、「知的書評合戦」ともいわれています。

「くさつビブリオバトル」は、草津市教育委員会、立命館大学等で構成される実行委員会により2013年に始まり、今年で4回目の開催となりました。みなくさまつりの企画の一つとして、みなくさまつり当日に、JR南草津駅東口のフェリエ南草津5階「市民交流プラザ」で実施しています。

## これまでの成果

2016年度は、午前中は小・中学生の部を開催し、午後からは英語、一般、大学生の3部門を開催しました。出場者は合計68名を数えました。

橋川渉 草津市長の開会挨拶に続いて行われた小・中学生の部は、草津市立小・中学校の児童・生徒、保護者、先生等でにぎわい、出場者と観覧者双方が、熱く盛り上がりました。

出場者が多いため3グループが同時進行で行う必要があり、音声がかぶるのを防ぐため、西浦敬信教授(情報理工学部)の支援により、「オーディオスポット」の技術を導入しました。「オーディオスポット」は、音波の周波数が低いと広範囲に音が伝わり、周波数が高くなるほど直線的に伝わっていくという特徴をもとに超音波技術を応用し、必要な場所にだけ音を届けることができる技術で、目には見えない「音のカーテン」を作り出すことができます。これにより音声かぶりを解決すると同時に、小・中学生に最新技術に触れてもらうことができました。

一般の部は「こころ・からだを健幸に!」をテーマにしました。これは、草津市が健康で幸せが感じられる都市を目指す「健幸都市」宣言を今年8月に行ったことにちなんで設定したテーマです。

## 今後の課題・目標

今後も草津市等の教育や健康づくり政策と連携した取り組みを進めていきたいと考えています。



橋川草津市長による本紹介



グループごとにバトルを実施



どの本が一番読みたくなったか投票

生涯学習支援・地域貢献活動

# 2016年度立命館びわこ講座～近江を学ぶ、草津を識る～

**本学担当**

BKC地域連携課

**主な連携先**

草津市教育委員会生涯学習課

**活動期間**

1994年度から現在

**主な活動地域・場所**

BKC

## 活動内容

BKC開学以来20年以上続く生涯学習講座です。草津市の委託事業としてスタートし、大学の知的資源を生涯学習支援に活かす講座として開講しており、2016年度は「近江を学ぶ、草津を識る」をテーマに様々な観点から講演を行いました。

- 第1回：「大津事件と児島惟謙」 山崎 有恒 教授（文学部）
- 第2回：「琵琶湖を調査する水中ロボット」 川村 貞夫 教授（理工学部）
- 第3回：「近江の街道景観 ～近江八景を交えて～」 山崎 正史 教授（理工学部）
- 第4回：「文学からみえてくる近江の風土」 西本 榊枝 先生（旅行作家）
- 第5回：「天智天皇と近江大津宮、そして桓武天皇」 本郷 真紹 教授（文学部）



第1回 山崎教授



第2回 川村教授



第3回 山崎教授



第4回 西本先生



第5回 本郷教授

## これまでの成果

歴史や景観、風土、環境などの観点から地域について学ぶ講座を多角的に展開しました。生涯学習支援であることはもちろん、本学での研究内容を知っていただく機会ともなっており、受講者アンケートでは本学の「人材育成への期待」についてのご意見も多数頂戴しました。また、第4回目にご講演いただいた西本先生は株式会社滋賀銀行の季刊誌にも寄稿されており、近江・草津地域の魅力について文学作品を通じて作家の視点からお話いただきました。今回の受講者も草津市在住・在勤者やBKC周辺にお住まいの方が中心となっており、中にはリピーターの方も多く、熱心に受講されている姿が印象的でした。

## 今後の課題・目標

受講者アンケートからは「今後もこういった講座展開を継続してほしい」「近江について深く学ぶことができた、興味を持つようになった」「別のテーマでも開講してほしい」といったご意見等を多数いただきました。今後も大学の知見を活かし、生涯学習を通じた取り組みによって地域の発展に貢献していきます。また、「地域に開かれたキャンパス」として発展するためにも地域の皆様と協働しながら様々な取り組みを実施していきます。

生涯学習支援・地域貢献活動

# 「びわ湖の日」連続講座 ～自然と暮らしの接点、滋賀の食を考える。～

**本学担当**

BKC地域連携課

**主な連携先**

滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課

**活動期間**

2015年度から

**主な活動地域・場所**

BKC

## 活動内容

2015年度より、7月1日「びわ湖の日」の関連事業として、持続可能な社会の構築のために一人ひとりが何ができるかを考え、新たな気付きを得るきっかけとなることを目的とし、滋賀県と立命館大学の連携による連続講座を実施しています。

## これまでの成果

2016年度は、「自然と暮らしの接点、滋賀の食を考える。」をテーマとして、環境と暮らしの双方と密接な関係を有する「食」を切り口とした講座を3回にわたって、BKCを会場にして開催しました。

第1回：6月11日（土）「琵琶湖が育む〈食の滋賀〉の魅力発信」

唐澤 武彦 氏（星野リゾートホテルド比叡総支配人）

井澤 裕司 教授（経済学部）

第2回：7月10日（日）「6次産業化と食の地域ブランドー滋賀県を中心にー」

松原 豊彦 教授（経済学部）

第3回：8月06日（土）「水の国・近江の地酒」

藤居 鐵也 氏（蔵元藤居本家・滋賀県酒造組合会長）

最終日の第3回では、三日月大造 滋賀県知事が登壇され、国民的資産である琵琶湖の価値・魅力・歴史の共有を図ることが講座の趣旨であることを説明された後、地酒の実物を手にしながら、近江の地酒のおいしさと日本酒の持つ可能性について、熱く語られました。

## 今後の課題・目標

「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」の施行もあり、琵琶湖に対する関心が高まっている中、今後も滋賀県と連携し、県民の皆様や学生が様々な視点で琵琶湖について理解を深める機会を提供できればと考えています。



第1回 唐澤総支配人と井澤教授の対談



第2回 松原教授



第3回 藤居滋賀県酒造組合会長



最終日に登壇した三日月滋賀県知事

生涯学習支援・地域貢献活動

# あいこうか生涯カレッジ

**本学担当**

BKC地域連携課

**主な連携先**

甲賀市教育委員会

**活動期間**

2015年度から現在

**主な活動地域・場所**

BKC

## 活動内容

あいこうか生涯カレッジは、地域にある文化財や受け継がれてきた熟練の技を題材とした現地学習から始め、高校での体験学習を経て、大学での専門的な学習へと、会場を移しながら、発展的に学ぶ新しい形の連続講座で、講義だけでなく、見学や実習などが行われます。

立命館大学は、あいこうか生涯カレッジ実行委員会（事務局：甲賀市教育委員会）に参画しています。

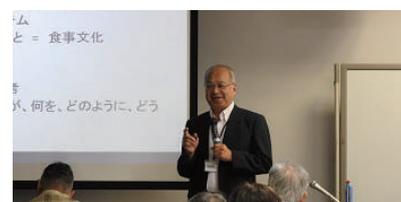
## これまでの成果

2016年度は、全7回にわたって立命館大学教員が講師を務め、BKCを会場にして、理論学習講座を実施しました。

- 第1回：9月24日（土）「食文化からみえること一日韓比較」  
立命館大学経済学部教授 朝倉 敏夫
- 第2回：10月1日（土）「白川静と漢字の世界」  
立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所  
白川文字学教育リサーチャー 後藤 文男
- 第3回：10月22日（土）「運動機能の評価と介護予防に向けた運動療法」  
立命館大学スポーツ健康科学部助教 藤本 雅大
- 第4回：10月29日（土）「健康づくり運動：なぜ筋肉質は痩せよりも健康で長生きできるのか？」  
立命館大学スポーツ健康科学部教授 藤田 聡
- 第5回：11月5日（土）「よくわかる日本の金融政策I」  
立命館大学経済学部教授 松本 朗
- 第6回：11月12日（土）「よくわかる日本の金融政策II」  
立命館大学経済学部教授 松本 朗
- 第7回：12月10日（土）「6次産業化は地域活性化の切り札になるか」  
立命館大学経済学部教授 松原 豊彦

## 今後の課題・目標

今後も、あいこうか生涯カレッジ実行委員会に参画し、受講者の皆様の学びに資する取り組みを継続したいと考えています。



第1回 朝倉教授



第2回 後藤先生



第3回 藤本助教



第4回 藤田教授



第5回・6回 松本教授



第7回 松原教授

# 滋賀県地域情報化推進会議

## 本学担当

情報理工学部  
教授(学部長) 仲谷 善雄

## 主な連携先

滋賀県

## 活動期間

2014年度から現在

## 主な活動地域・場所

滋賀県

## 活動内容

1988年に「しがニューメディア推進連絡会議」として発足して以来、約30年間、活動している滋賀県の組織で、管轄は滋賀県県民生活部情報政策課。仲谷善雄教授は、前任者の八村広三郎・前情報理工学部長の後任として、委員長として参画しています。産業界からNTT西日本滋賀支店、NTTデータ関西、滋賀銀行、ミズホネット、京都新聞滋賀本社、滋賀富士通ソフトウェア、野村證券大津支店など30社、滋賀経済同友会などの12団体、19の市町、3大学（立命館大学、滋賀県立大学、龍谷大学）がメンバーとなっています。ICT利活用の検討、滋賀Web大賞（ホームページコンテスト）の開催、立命館大学情報理工学部主催のプログラミングコンテスト「あいちゃれ」の協賛、各種ICT関連セミナーの主催などの活動を行っています。最近では、ICT利活用検討部会において、滋賀県におけるオープンデータの活用方法について検討を行っています。

## これまでの成果

本会議は、滋賀県の情報化の推進を検討する組織として、県下の市町や企業を巻き込んで、具体的施策を提言してきました。その中で、情報理工学部長が委員長として就任してきた経緯があり、地域の情報化推進のかじ取りに大きな役割を果たしてきたと言えます。特に、年1回の総会時には、就任直後の会長が講演を行ってきており、2014年度には仲谷善雄教授が「事業継続管理と情報技術」という題名で、企業防災の観点からのICT利用について講演を行い、滋賀県における直下型地震の影響とそれへの対応の必要性に関する意識を高めることができました。またその後の2回の総会においても、マイナンバー制度への対応、IoTと社会情報基盤というタイムリーな講演テーマの企画に携わることにより、企業を中心とする地域社会に対してICT利活用の必要性・重要性をアピールできました（総会の講演は公開）。

## 今後の課題・目標

現在、ICT利活用検討部会においてオープンデータの活用方法について検討していますが、次年度も継続する予定です。自治体は多くのデータを保有していますが、それらが何に利用可能なのかという問題意識を持っていないために、埋もれたままになっています。それをどのように公開し、民間に利用してもらうのか、セキュリティの問題をどのようにクリアするのかなど、検討すべき課題はまだ残っています。残り1年となった委員長の任期中に、これらの点を明らかにし、それによって地域のオープンデータ利活用が推進するよう、働きかけたいと考えています。

# 防災カフェ・防災科学研修

**本学担当**

理工学部教員（下記参照）

**主な連携先**

滋賀県防災危機管理局

**活動期間**

2016年度から

**主な活動地域・場所**

滋賀県危機管理センター

## 活動内容

多様化、複雑化する様々な危機事案に対する滋賀県民の皆様の疑問について、各専門分野のゲストとファシリテーターとのやりとりや質疑応答を通じてわかりやすく解説する「防災カフェ」と、大学の防災研究機関と連携した、科学的に専門性の高い講座により、より高度な知識・情報を身に付けることで、今後の県等の防災施策に生かす「防災科学研修」を実施しました。

## これまでの成果

2016年度は、以下のとおり、立命館大学理工学部の教員がファシリテーター及び講師を務めて実施しました。

### 〈防災カフェ〉

ファシリテーター：理工学部 深川良一教授（防災フロンティア研究センター長）

講師：①06/21（火）理工学部 教授 里深 好文

②07/21（木）理工学部 助教 藤本 将光

③09/16（金）理工学部 教授 川方 裕則

④10/17（月）理工学部 教授 吉富 信太

⑤11/10（木）理工学部 教授 伊津野 和行

⑥12/19（月）理工学部 教授 大窪 健之

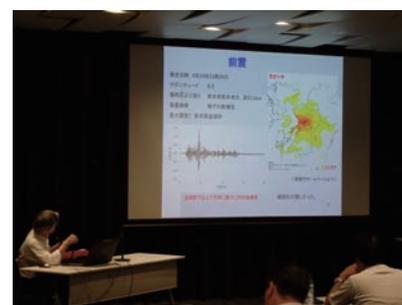
### 〈防災科学研修〉

7月5日（火）・6日（水）

講師：理工学部

教授 川方 裕則、教授 伊津野 和行、教授 里深 好文、

教授 深川 良一、教授 吉富 信太、教授 大窪 健之（登壇順）



当日の様子（1）



当日の様子（2）



当日の様子（3）

## 今後の課題・目標

近年、大きな災害が連続して発生し、防災に対する関心が高まっている中、今後も滋賀県と連携し、県民の皆様が防災について理解を深める機会を提供できればと考えています。



学生の活躍

社会・  
地域連携スポーツ&  
カルチャー

生涯学習支援・地域貢献活動

# 山田ウォーキング・健康バンド講座 ～山田学区での取組み～

## 本学担当

スポーツ健康科学部 教授 田畑 泉、  
藤田聡研究室

## 主な連携先

山田学区まちづくり協議会

## 活動期間

2015年度から

## 主な活動地域・場所

山田学区（草津市）

## 活動内容

山田学区は草津市内でも高齢化率が高く、運動不足の解消や地域一帯となった健康づくりをめざす取り組みが多数行われています。「健康ウォーキング事業」では、9月に烏丸半島付近でのウォーキングを実施され、11月には講義と学区内でのウォーキングを実施しました。講師は2015年度に引き続き田畑泉教授がつとめました。また、健康バンド講座では藤田聡教授（スポーツ健康科学部）が代表を務める「立命フィットネス研究会」に所属するスポーツ健康科学部の学生・院生が講師となり、健康バンドを用いた適度な筋力トレーニングについて講座を開きました。

## これまでの成果

健康ウォーキング講座では、田畑泉教授監修の「健康手帳」を教材に、生活習慣病の基礎知識や、病気予防のためになぜ運動が重要なのかを科学的に講義し、また、毎日をアクティブに暮らすためにも、受講者のみなさんが「リーダー」となって地域でこういった取り組みを継続することも重要であるというお話がありました。さらに様々な観点から「健康で長生き」をするための生活習慣を身につけることの重要性について指摘され、受講生の皆さんは熱心に聴講されていました。その後、学区内を1時間程度ウォーキングしました。

健康バンド講座では、イスに座った状態で上肢・下肢を鍛えられ、複数の参加者が同時に実施することも可能である「健康バンド」を用いて約1時間ほど汗を流しました。講師となる学生は指導者として県内を中心とする地域で様々な講座展開をしており、学内での学びを地域社会に還元しています。

## 今後の課題・目標

山田ウォーキングの主催者の方からは、「教授に講師として来ていただくことで科学的なお話を聞くことができる貴重な機会である」とお話しいただいた一方、お子様や若年層の参加はまだ少ないため、学区内一体となつての取組みとして今後も発展させたいと語られました。今後も、地域の健康づくりに貢献できるように教員だけでなく、健康バンド講座のように学生が自らの学びを活かすことができるような取組みも実施していきたいと思ひます。



田畑教授による講義



学区内をウォーキング



健康バンド使用前の準備体操指導



上肢のトレーニング



トレーニング継続の意義について語る学生

生涯学習支援・地域貢献活動

# 健康ウォーキングの実施～笠縫東学区での取り組み～

**本学担当**

スポーツ健康科学部  
教授 家光 素行

**主な連携先**

笠縫東学区まちづくり協議会

**活動期間**

2015年度から

**主な活動地域・場所**

笠縫東学区（草津市）

## 活動内容

笠縫東学区では健康増進にかかる様々な事業を実施されており、そのうちの「健康ウォーキングの実施」において、家光素行教授が昨年度に引き続き講師を務めました。昨年度は、家光教授による基礎知識の講座展開がなされ、当日には活動量計が貸し出されました。引き続き今年度も受講されている方も多く、活動量計を用いてウォーキングを継続されている方が既に多数おられるということで、今年度はより実践的な取り組みを実施しました。街全体でウォーキングに取り組むことで健康づくりの機運が高まるだけでなく、「地域での見守り」としての役割も期待され、街全体が活性化することを目指し取り組んでいます。

## これまでの成果

第1回は安全で長続きするウォーキングを科学的に理解するという観点からの講義が行われた後、「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」の評価を行うため「立ち上がりテスト」「2ステップテスト」「ロコモ25チェックシート」のテストを実施し、参加者自身の運動器能力、また将来の介護リスクの目安について知っていただきました。第2回では「ウォーキングマップを作ろう!」と題し、グループ毎に学区内での地図を作成。距離はもちろん安全面や景観なども考えられた数々のコースが完成しました。最後に全員でウォーキングに出かけ、歩く前後での心拍数の変化を計測し、歩行スピードの目安を知りました。第3回はより長い距離を負荷を変えながら実際に歩き、交流を深めました。

## 今後の課題・目標

毎回60名以上の参加者があったこともあり、アシスタントとして参加した大学院生は、「研究だけでなく、こういった地域貢献活動も必要だと実感した」と語ってくれました。

昨年度より継続して参加している方が多く、第1回、2回はそれぞれ30分程度のウォーキングであったことから「もっと歩きたい!」という声が多く挙がり、ウォーキングの機運の高まりが感じられます。今後も事業に参加されている方から学区内全体へとさらに拡大し、街を挙げて健康づくりに取り組まれることが期待されます。



家光教授による講義



測定を実施



ウォーキングマップ作りのグループワーク



脈のはかり方を確認



学区内をウォーキング

生涯学習支援・地域貢献活動

# 健康リーダー育成講座～笠縫東学区での取り組み～

**本学担当**

スポーツ健康科学部  
助教 藤本 雅大

**主な連携先**

笠縫東学区まちづくり協議会

**活動期間**

2015年度から

**主な活動地域・場所**

笠縫東市民センター、  
西消防署

## 活動内容

笠縫東学区での「健康リーダー（笠縫東版）育成」事業の研修会が昨年度に引き続き実施され、全9回の内3回を藤本雅大助教が担当しました。第1回目に「加齢に伴う運動機能の変化」をテーマとした講義、第2回目に「加齢により変化する運動機能の評価」を演題として体力測定会、第3回目に「高齢者に対する運動療法の実際」をテーマに継続した講座を展開しました。これらの研修を受講した「健康リーダー」は、その内容を広く地域に広め、健康づくりの機運を高めることに貢献します。

## これまでの成果

「加齢による姿勢・運動制御機能の低下メカニズムの解明」といったことを主たる研究テーマとされている藤本雅大助教は、専門的な内容での講義を実施。受講者は、第1回講座にて基礎知識を得た上で第2回講座での体力測定を行い、加齢により自身の運動機能がどれだけ変化しているかを客観的に知りました。第3回講座では、自身の体力を把握した上で、低下した運動機能の改善方法について学びました。受講者の方も熱心に聴講・参加され、毎回質疑応答も活発に行われました。特に第2回講座の体力測定会では、グループに分かれて応援あいながら測定を実施したことで、和気藹々とした雰囲気で行うことができました。

## 今後の課題・目標

今後は受講者のみなさんが「健康リーダー」として地域の健康づくりに積極的に取り組まれることが期待されます。そして、今後藤本雅大助教が行う実験の被験者としてもBKCにお越しいただいたり、継続した講座展開を実施したりすることで、今回の取り組みが一過性のもので終わることなく、草津市の健康づくりに貢献できるような取り組みとして進めていきたいと考えています。



藤本助教による講義



体力測定の説明をする藤本助教



グループ毎に体力測定



トレーニング方法の紹介



複数課題条件下でのトレーニング実例



研究



産学官連携

社会・  
地域連携

## 研究活動

## 琵琶湖Σ研究センター

## 【本学担当】

研究部 BKCリサーチオフィス

## 【主な連携先】

公益社団法人 滋賀県環境保全協会  
他

## 【活動期間】

2010年度から現在

## 【主な活動地域・場所】

BKC、琵琶湖およびその  
周辺地域 など

## 活動内容

当研究センターは琵琶湖をキーワードに、研究者（教員）が学部の垣根を越えて活動を展開しています。琵琶湖はリンによる富栄養化や貴重な固有種の減少等、様々な環境問題に直面してきました。当センターでは、琵琶湖の環境改善に関する研究に取り組むことで世界の淡水域の環境改善につながるよう、流域環境の農業に関する課題も含めて、産学官連携による研究推進に取り組んでいます。

所属する研究者の専門は主に環境工学、都市工学、生物機能工学、ロボット工学、データ工学等、多岐にわたります。総合大学ならではの強みを活かし研究者同士も連携することで、新規なアプローチで課題解決に取り組むことが出来ます。また、当センターは企業との共同研究の実績も豊富で、技術の研究開発は社会実装を念頭において取り組んでいるのもポイントです。

## これまでの成果

当センターで行っている研究活動をご報告する場として、当センター主催のオープンシンポジウムを2010年から毎年、(公社)滋賀県環境保全協会との共催で行っています。企業や周辺自治体の方の来場は年々増えており、新たな連携創出の場として一定の成果を挙げています。このほか各研究プロジェクトとしては、水中ロボットを用いたハイビジョンカメラによる琵琶湖の水中撮影に関するテレビ局との共同研究、流体力学のシミュレーションを用いた近江八幡の八幡掘の浄化に関するまちづくり企業との共同研究などを各企業と行い、いずれも一定の成果を挙げています。

## 今後の課題・目標

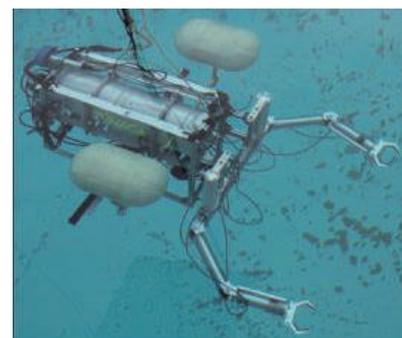
当センター内での研究者同士の連携によるプロジェクトを発展させつつ、地域の企業や周辺自治体を巻き込んだ大規模な研究プロジェクトを立ち上げたいと考えています。これにより大学のもつ知見・技術の社会普及をいっそう促進し、技術移転による地域産業の活性化に繋げ、地域をはじめとする人々のよりよい暮らしに貢献できるよう取り組みたいと考えています。



採泥ロボット



「ナノびわ」琵琶湖研究用水槽



水中ロボット「湖虎 (CoCo)」



環境共生型ポーラスコンクリート



シンポジウムの様子



研究



産学官連携

社会・  
地域連携

## 研究活動

# 拠点形成型R-GIRO研究プログラム食料研究拠点 「農水産業の6次産業化による新食料研究拠点」

**本学担当**

経済学部  
教授 松原 豊彦

**主な連携先**

草津市、守山市、志摩市、JAおうみ富士、  
JA草津、立命館大学生生活協同組合

**活動期間**

2012年10月から  
2016年3月

**主な活動地域・場所**

草津市、守山市

## 活動内容

R-GIRO食料研究拠点は、農業の6次産業化（総合産業化）をキーワードにして、持続可能で質の高い食料生産モデルの構築を目指して活動してきました。

その一環として、2015年秋から立命館大学で開発した土作りの技術「SOFIX（土壌肥沃度指標）」技術を活用して守山市、草津市で実際に水菜、ほうれん草、大根、白菜などの野菜を栽培し、11月からイオンスタイル草津店で「SOFIX野菜」のコーナーを設置しました。

また、琵琶湖固有種の保存技術の開発、食品残渣の堆肥化による食循環システムの構築、地元農産物による学内マルシェの開催、アスリート・スイーツの開発や地域特産品の商品化、食育プログラムの開発等を進めてきました。



SOFIX野菜コーナー

## これまでの成果

- 農薬や化学肥料を多用する農法では、発ガン性などの健康被害が指摘されている硝酸イオンが野菜に過剰に蓄積する傾向があります。本取組では、SOFIX技術を活用することで農薬や化学肥料の使用を低減し、硝酸イオンの含有量が低くかつ生産性の高い農産物の栽培モデルを構築し、イオンの店舗を通じて消費者に提供しました。
- ひろろ対話する機会がない農業生産者と消費者、流通販売業者が一堂に会合し、食のあり方について意見交換する「食の懇談」の場を開催しました。この「食の懇談」の手法は、他の地域での展開にも活用することができます。
- 最先端の肝細胞生物学を用いて、絶滅が危惧される琵琶湖固有種ホンモロコの遺伝資源の保存と増培養技術を開発しました。
- 地域の食材を活用したBKCにおける「旬彩マルシェ」の開催や生産者・消費者・流通販売業者による懇談、大学等の食品残渣の堆肥化による地域の食循環システムの構築などを通じた、都市における生産者・消費者協調型の食システムの基礎を構築しました。
- 地域の生産者と連携した立命館守山中学・高校での「中高一貫校」における長期食育モデルを構築しました。
- 良質な大豆タンパクを活用したアスリート向けのスイーツ「SOY DELI」を開発し、商品として販売を開始しました。
- 滋賀県草津市、守山市、三重県志摩市などで農業の6次産業化の取組に実践的に関わり、6次産業化モデルの確立と地域における適用・検証を行いました。



食の懇談

## 今後の課題・目標

- SOFIX技術の導入により、農薬、化学肥料のコスト低減、収益の増大などにより農家収入の増大を実現する経営モデルの構築。
- SOFIX技術を活用した農産物の栽培に不可欠となる良質な堆肥、有機資材の安定的供給のため地域バイオスマップの作成。
- 消費者の中でのSOFIX技術についての理解促進。
- ホンモロコ培養技術の社会実装。
- 都市における生産者・消費者協調型の食システムの本格的な展開。
- 地域に根ざした食教育モデルの他地域・他校での展開。
- 6次産業化モデルの他地域での展開。



研究



産学官連携



社会・地域連携



スポーツ&amp;カルチャー

## 研究活動

## センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム

## 「運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点」

## 本学担当

研究部 BCKリサーチオフィス URA  
原 健太

## 主な連携先

東洋紡株式会社、オムロンヘルスケア株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社東大阪スタジアム、パナソニック株式会社、株式会社日立製作所、東急不動産株式会社、花王株式会社、株式会社ニッビ、大日本印刷株式会社、近畿大学

## 活動期間

2013年度から現在

## 主な活動地域・場所

BKC、OIC (大阪・いばらきキャンパス)、順天堂大学、若狭町、東郷町

## 活動内容

- 運動の生活カルチャー化を目指し、運動したくなるような先端技術の研究開発および事業化を目指す研究開発拠点です。本拠点は立命館大学、順天堂大学、企業10社が2021年までに革新的な技術の事業化を目指すプログラムです。
- 空間価値を変える新しいスポーツ健康技術(スマートウェア技術、空間シェアリング技術、運動誘導/継続技術)と、寝たきりゼロを目指す「ロコモの見える化と予防法の開発」を行います。「運動」を媒介に「スポーツ・運動」と「医療」の両側面から健康を維持・増進し、全ての人々をアクティブな状態へ誘導します。人々の時間と空間を共有し、「日本の誇るべき絆社会」を実現します。
- 運動誘導/継続システム:生体情報を取得できるスマートウェアと指向性スピーカーを組み合わせ、個人や集団の心身状態に合わせて情報をユーザーにフィードバックすることにより、体調管理を行いながら生活スタイルを変化させ、運動の誘導/継続を促す環境システム。
- 地域連携支援システム(在宅自己管理支援システム):住宅・老人ホーム等においてユーザーの生体試料や身体能力情報をもとにロコモ予備群または発症者を見える化し、対象者に適切なロコモ対策法(基本的に運動、状況に応じて機器/サプリ)を推奨します。実施と見える化を繰り返し、自身で行うロコモ対策が身についていく検出・通信連携型の支援システム。

## これまでの成果

- 参画企業と共にプリント式生体計測センサ/配線の開発や、肌着様スマートウェアの開発に成功。成果の公表のために、国内外で展示会出展を行なっています。従来の計測項目を超える数の項目を計測可能、更に配線部に導電性ペーストを使用したためより実用化へ近づきました。
- 指向性・直進性の強い超音波スピーカーにより、空間の1点からのみ音が聞こえる極小領域オーディオスポット技術を開発しました。映像ホログラムとの組み合わせによりバーチャルな映像からの音声発信が可能となります。
- ロコモ予備群を見つけ出す活動は、都内のデパート勤務の方たちを皮切りに、千葉県の白井市、印西市、成田市で実施しました。ロコモ度を参加者が知ること、ロコモティブシンドロームという状態の認知度を高め、運動がその予防に有効であることを意識して頂きました。
- 地域の連携について、本年度では本拠点の技術を用いて「挑戦したいを応援する」運動フェスティバルをスポーツ健康 commons にて開催しました。本イベントでは、草津市、大津市から約300名の参加者があり、各世代に合わせた運動の提供とコミュニティーを形成するための場を提供しました。さらに、立命館大学と産学連携を実施している健康食品企業に出展頂き、食・運動・コミュニティーを軸とした総合健康イベントとなりました。

## 今後の課題・目標

今後は、本拠点が研究開発した技術の社会実装を進めます。さらに、運動を通じた多世代交流の場を提供することにも焦点を置き、コミュニティー形成、製品の事業化を進めていきます。コミュニティー形成には、企業と地域住民が情報交換を実施できるような場を設置します。事業化に向けては、各企業と共同でビジネスプラン構築を行い、昨今頻繁に行われているビジネスコンテストを活用する形で進めます。健康イノベーションを創出するために、企業、自治体、地域と連携体制を深め、運動の生活カルチャー化を推進します。



スマートウェアを活用した運動指導



空間シェアリング技術を活用した運動空間の創生



産学連携企業の展示会



地域参加型の運動イベント



学生の活躍



研究



産学官連携

社会・  
地域連携

## 研究活動

志摩市6次産業化推進事業における  
「隼人芋の増産に関する調査研究」

## 本学担当

経済学部  
教授 松原 豊彦

## 主な連携先

志摩市、株式会社三重ティーエルオー、  
三重大学、株式会社京菓子如月

## 活動期間

2015年5月1日から  
2016年3月20日

## 主な活動地域・場所

三重県志摩市

## 活動内容

志摩市では隼人芋生産者の高齢化問題に直面しており、需要があるにもかかわらず、生産量が年々減少しています。隼人芋を原料にした商品には、海女や漁師の携帯食として知られる干芋「きんこ」や「きんこ焼酎」などがあります。そこで、本学の学生5名と教員5名、志摩市職員、三重大学がチームを作り、6次産業化の観点からこの問題に取り組みました。まず、2015年10月に隼人芋生産者と一緒に隼人芋の収穫体験を、また、2016年1月には隼人芋の加工体験をし、生産者が抱える問題と、隼人芋ときんこのもつ魅力などを体感しました。それを図表化し、2月上旬に京菓子如月の代表取締役 井之本氏協力のもと、隼人芋を使った新商品開発を試みました。

## これまでの成果

学生からは「①茹でた隼人芋の実の色は非常に鮮やかな山吹色であり、この特徴を活かした商品を創ること」、志摩市からは「②志摩市をイメージできる商品を創ること」、教員からは「③高齢化している隼人芋生産者の労力を軽減できる商品を創ること」が提案され、考慮した結果、隼人芋の実をペースト状にしたもの（以下、ペースト）を用いた商品開発を目指すこととしました。2月に、京菓子如月の代表取締役 井之本氏にも議論に参加していただき、志摩市の真珠をイメージした「きんこ葛餅」と「きんこ大福」が創り出されました。同月実施した試食会では、「きんこ葛餅」の商品化と、ペーストなら菓子製造業者に販売できることが示唆されました。このような前向きな結果が得られたのは、産官学による連携の成果であり、今後の継続も希望します。

## 今後の課題・目標

今後の課題は2点あります。1点目は、菓子製造業者からペーストの需要を増やすために、「きんこ葛餅」の販売実現を示す必要があること。そして、ペーストの応用性を示すために、「きんこ葛餅」以外の商品を開発する必要もあります。今後は、「きんこ焼酎」と栗などを加えたマロンペーストを開発し、モンブランケーキの創作を考えています。2点目は、隼人芋生産者の高齢化問題について解決方法を見出すことです。今回は高齢者の労働負担軽減を視野に入れた研究であったため、今後は若者が隼人芋生産に参入する方法について取り組みたいと考えています。



商品開発討論会



収穫した隼人芋



隼人芋加工作業



芋の天日干し



きんこ大福・きんこ葛餅



学生の活躍



研究



産学官連携

社会・  
地域連携

## 研究活動

## 「あいの土山 道の駅」再生・地域活性化拠点形成計画

## 本学担当

経済学部  
客員教授 金井 萬造、金井ゼミ

## 主な連携先

甲賀市（総合政策部、産業経済部、教育委員会、観光協会）

## 活動期間

2016年度から  
2017年度

## 主な活動地域・場所

滋賀県甲賀市土山町  
「あいの土山 道の駅」  
施設

## 活動内容

金井ゼミ（大学院生・金井教授）と甲賀市関係部局（総合政策部・産業経済部・教育委員会・観光協会）の協議体が主体となり、1993年設立の道の駅が23年を経過した現在の果たす施設の機能について、道路利用者の立ち寄り機能と周辺地域の拠点の果たす機能や将来課題に対応する役割を明確にすることを目的に調査を進めています。関係者との意見交換を通して、道の駅の再生策を検討しながら、施設の利用の実態と課題、関係者が捉えている問題と意見交換、先進地調査と教訓、文献等からの付加機能の研究を行っています。

## これまでの成果

施設の整備の15年後に新高速道路が開通し交通量の減少の影響を受けていますが、それ以外に地域の人口減少や商業・流通システムの変化の影響を受けており、新たな周辺地域の拠点機能を果たす可能性を指摘することができました。

その機能とは地域の方が行きたくなる魅力と地域が元気になる交流の場の形成、さらに時代要請の防災・福祉・文化・観光の機能の保持と発揮です。

体験・交流の場としての道の駅の再生方向が見えてきたことが成果となっています。

## 今後の課題・目標

魅力拠点・賑わい・経済面での事業化の取組みを着実に進めていきます。

取組みの具体化と実際の事業起こしに取り組んでいくことにより、目的・目標に近づけ、地域創造・地域活性化の拠点形成を目指していきたいと考えています。



教育



学生の活躍



研究



グローバル



社会・地域連携

## 学生の課外自主活動

# 寺脇拓ゼミ有志団体 「歴史景観の町 近江八幡 インバウンド観光振興プロジェクト」

### 本学担当

経済学部  
教授 寺脇 拓

### 主な連携先

近江八幡観光物産協会

### 活動期間

2016年度から現在

### 主な活動地域・場所

近江八幡市

## 活動内容

寺脇拓ゼミでは、毎年正課外の活動として、2回生から4回生までの有志のメンバーで、前年度に行った研究の成果を発展させるプロジェクトに取り組んでおり、今年はその5年目を迎えます。今年度は、44名のメンバーで、由緒ある町並みや歴史的な景観が多数残されている近江八幡の魅力外国人に広く伝え、その認知度を高めることによって、そこでのインバウンド観光振興を図るプロジェクトを立ち上げました。具体的には、外国人向けに八幡堀とその周辺地域を紹介する動画を作成し、その配信が近江八幡の観光振興に与える効果を定量的に分析する研究に取り組んでいます。

## これまでの成果

9月12日～24日の期間に、近江八幡観光物産協会を始め、近江八幡市立資料館、八幡山ロープウェー、日牟禮八幡宮、かわらミュージアム、近江八幡和船観光協同組合、千成亭、逢茶あまな、たねや、レアウッドビーズ美樹など、多くの関連団体・店舗のご協力を得て、八幡堀や商家の町並み、水郷などの歴史的な景観、および木珠アクセサリーや近江牛、抹茶パフェなどの伝統産業・食文化を紹介する動画を撮影しました。それらを編集し、英語と中国語のナレーションをつけて、動画共有サイトに投稿します。最終的には、その動画閲覧者を対象にウェブでのアンケート調査を実施し、動画による観光紹介の効果を検証します。

## 今後の課題・目標

作成した動画へのアクセス解析、およびアンケート調査で得られたデータの分析から、その動画が外国人の近江八幡への旅行行動にプラスに作用するかどうかを検証するとともに、その行動選択の規定要因（年齢、性別、国籍など）を計量的に探る予定です。こうした動画による観光紹介が、外国人の近江八幡に対する認知度を高め、インバウンド観光振興を図る上で有効な手段であることを提示できるものと期待しています。



たねやでの撮影



レアウッドビーズ美樹での撮影



逢茶あまなでの撮影



水郷めぐりの撮影



八幡堀まつりでの撮影

## 学生の課外自主活動

# 高島地域活性化プロジェクト「高島ワークキャンプ」

### 本学担当

サービスラーニングセンター  
主事 高橋 あゆみ

### 主な連携先

社会福祉法人高島市社会福祉協議会

### 活動期間

2011年2月から現在

### 主な活動地域・場所

高島市朽木、今津、マキノ  
など

## 活動内容

高島地域活性化プロジェクト「高島ワークキャンプ」は、社会福祉法人高島市社会福祉協議会の協力のもと、滋賀県の湖西側に位置する高島市の朽木を中心に、主に冬の雪かきを通して地域の活性化に取り組む宿泊型のボランティア活動です。BKCのみならず、全キャンパスの大学生・大学院生を対象に募集しています。

地域の方々との交流を通して過疎高齢化が進む地域の問題や高島の魅力を学び、地域で活動する意義を見出していきます。現地の地域課題解決に向けて取り組むことで、ボランティア活動への動機づけとなることを目的としています。

## これまでの成果

2010年度より開始し、延べ200名程の学生がこれまで参加しました。過疎高齢化が進む地域の現状を知ることや、自然と共存する暮らし（獣害対策の電柵のつる取り、雪かきなど）を体験するなど、多くのことを学んでいます。現地活動中に行う振り返りでは、活動での気づきなどを共有することにより、視野の広がりや新たな価値観を知ることができ、地域活動のおもしろみや継続参加のきっかけになっているといえます。

高島市とのつながりにおいては、冬の活動だけでなく、夏の長期休みにも実施することにより、継続的なつながりを築いてきました。今年度は年間を通じてのつながりを模索する中で、より継続的な関わりを意識して活動を調整しました。開始から6年を迎える現在では、本学の知名度が高まりつつあり、2014年度の冬からは民泊をさせていただくなど、地域との信頼関係を深めています。

また、運営主体をサービスラーニングセンターの学生スタッフである「学生コーディネーター」が今年度中心となって進めてきました。当日の活動のみならず、事前に顔合わせや打ち合わせを行う中で、地域と学生をつなぐ役割を担っています。

## 今後の課題・目標

より多くの学生に参加してもらえるよう、地域活動への動機づけとなる広報展開を行いたいです。特に1、2回生の低回生をメインターゲットとして呼びかけをしたいです。また、本企画をきっかけに、継続的に地域で活動することや、地域での活動経験と大学での学びをつなげていくなど、学生生活において多様な学びを深められるよう、事前・事後学習の充実を図っていきたいです。

地域との連携においては引き続き、継続的な活動に取り組むことにより、さらなる高島市との信頼関係を深めていきたいです。



夏の活動



事後振り返りの様子



冬の活動



当日の振り返りの様子

## 学生の課外自主活動

# 出あいプロジェクト（地域と出あう、地域の人と出あう）

### 本学担当

サービスラーニングセンター  
主事 高橋 あゆみ

### 主な連携先

志津南学区まちづくり協議会

### 活動期間

2015年5月から現在

### 主な活動地域・場所

草津市志津南学区内

## 活動内容

地域活動に参加する一歩として、まずは地域と出あい、地域を知り、地域の方と交流を深めるといったプロジェクトです。昨年度から引き続き、志津南学区まちづくり協議会にご協力いただき、スクールガード、子育てボランティア、緑化活動、まちあるきの活動をキャンパスのすぐ隣にある地域で取り組みました。年度初めに地域参加の体験を重ねることにより、学生生活における地域参加や現場での学び、関係性における学びの素地を作ることが期待され、また、本プログラムにより地域参加への一歩となり、BKC所属学生のボランティア活動の活性化につなげることを目的として実施しました。



スクールガード

## これまでの成果

参加した学生からは、地域を知る機会となり「また参加したい」といった感想が寄せられ、地域参加の一歩につながりました。中には継続的に活動に参加している学生もいます。昨年度からの継続的な取組みとして、少数ながらも学生が地域へ関わらせていただくことにより、出あいプロジェクト以外でも地域の方から活動の依頼が寄せられるようになりました。12月に行われた「みなくさまつり」では志津南学区まちづくり協議会のブースをサービスラーニングセンターとしてお手伝いさせていただきまでに発展しました。

また、志津南学区まちづくり協議会内で発行されている「志津南News」にて本企画を取り上げていただき、参加学生の感想等が掲載されています。



まちあるき

## 今後の課題・目標

参加した学生は地域へ一歩踏み出すきっかけとなり満足度が高かったものの、昨年度に引き続き、参加者が少なかったことが一番の課題です。今後より多くの学生に参加してもらえるよう、他部署との連携を深め、広報の工夫をしていきたいです。また、本プロジェクト参加後もより多くの学生が継続的な地域との関係性がつくられるよう、参加後のフォローアップを充実させていきたいです。

地域との連携においては引き続き、継続的な活動に取り組むことにより、さらなる信頼関係を深めていきたいです。



子育てボランティア



緑化活動

## 学生の課外自主活動

# 立命の家

### 本学担当

立命の家実行委員会、  
BKC学生オフィス 地域交流担当

### 主な連携先

草津市内を中心とした小学校

### 活動期間

2001年度から現在

### 主な活動地域・場所

BKC

## 活動内容

立命の家は、本学の課外自主活動団体が日頃の活動の成果を地域に還元する取り組みのひとつで、毎年夏にBKCにて開催し、2016年度には16回目を迎えました。学術系団体によって組織された実行委員会が企画・運営を行い、近隣の小学生を対象にもものづくりや情報、英語といった学習の体験企画を実施しています。2016年度の実行委員会は、小学生のみなさんに日頃の勉強とは一味違う新しい発見や出会いを体験してもらいたい、他校の小学生との交流や大学生と接する経験を通じて自分の世界を広げてもらいたいという想いを込めて、テーマを「立命の家2016 ファンタジー～君の世界を広げよう!～」としました。

## これまでの成果

8月24日（水）～25日（木）の2日間、小学生121名・保護者50名にご来場いただきました。学生は、下記の9団体から実行委員や企画スタッフなど167名が参加しました。それぞれの団体が企画を用意し、小学生のみなさんには希望の団体企画（1日あたり2企画、計4企画）に参加していただき、昼食や交流会のレクリエーションを通じて親睦を深めることができました。

### 【2016年度参加団体】

E.S.S.（英語研究会）、立命館コンピュータクラブ（RCC）、音響工学研究会、ライフサイエンス研究会、草津天文研究会、飛行機研究会、ロボット技術研究会、Ri-one、RiG++、数学研究会\*

\*当日スタッフのみ

## 今後の課題・目標

企画への応募は年々増加（'14年93名、'15年124名、'16年248名）しており、施設条件や受入体制、安全対策の観点から適正規模にする必要があるため、2016年度は抽選・選考を行いました。大勢の小学生の引率・誘導や各企画の進行を安全かつ円滑に行えるよう、今後は児童ボランティア系の団体にも当日運営の協力を呼びかけたり、各企画間の移動経路にも配慮するなどして、引き続き多くのみなさんに喜んでいただけるよう取り組んで参ります。



ストローで楽器を作ろう!



Minecraftでプログラミングを学ぼう!



交流会



しゃぼんだまつり!



集合写真

学生の課外自主活動

# 市民ふれあい秋まつり in くさつ「パワフル交流・市民の日」

**本学担当**

BKC学生オフィス 地域交流担当

**主な連携先**

草津市コミュニティ事業団

**活動期間**

2010年度以前から  
現在

**主な活動地域・場所**

草津市役所

## 活動内容

パワフル交流・市民の日は、草津市内の様々な市民団体が日頃の活動内容をポスター展示やステージパフォーマンスで発表したり、体験コーナーや模擬店でPRする市民参加型のイベントです。市民活動の活性化を図るとともに、市民の草津への愛着の醸成・強化、草津市の活気の創出を目的として、毎年秋に草津市役所を会場として開催しています。本学からは、文化・芸術・学術系の課外自主活動団体が参加し、ものづくりの体験企画や手品などのパフォーマンスの披露を行いました。



数学研究会「折り紙づくり」

## これまでの成果

2016年度は11月5日（土）に開催され、数学研究会、奇術研究会マジックプレイヤーズおよび琵琶湖漫画研究会の3団体が参加しました。数学研究会は数学の知識を活かした「バラの花の折り紙づくり体験」、マジックプレイヤーズはお客さんとのコミュニケーションを楽しみながらの「クロスアップマジック披露」、琵琶湖漫画研究会は自分で描いたイラストをラミネート加工して作る「しおりづくり体験」を実施して、来場した多くの草津市民のみなさんと交流することができました。また、市民団体による模擬店の運営スタッフとして参加する学生の姿も見受けられました。



マジックプレイヤーズ「マジックの体験」

## 今後の課題・目標

本学では、日頃から多くの課外自主活動団体が学外に出かけて活動を展開しています。活動の成果を地域に還元し、交流を深めようとするもので、地域のにぎわいや活力の創出にもつながると考えています。一方、学生には地域での活動を通じてこそ得られる成長があり、地域との良好な関係を築くことで日々の学生生活の満足度も向上します。これからも地域と学生双方の発展のために、本取り組みを含め学生の地域交流活動を推進して参ります。



琵琶湖漫画研究会「しおりづくり」

## 学生の課外自主活動

# ペットボトルキャップ回収を通じた環境保全活動

### 本学担当

Reco.lab (学友会 登録団体)

### 主な連携先

滋賀県草津市

### 活動期間

2013年度から現在

### 主な活動地域・場所

BKC、草津市

## 活動内容

私達はペットボトルキャップの回収、BKC敷地内の自然林の整備、グリーンカーテンの設置などの活動を行っています。ペットボトルキャップの回収の活動では、キャンパス内に13個の回収ボックスを設置し、月に1回のペースで回収しています。回収したペットボトルキャップは、循環型社会創造研究所「えこら」の協力のもと10円/kgで換金し、琵琶湖の環境保全のための「びわこの日基金」に募金しています。その他にも「こども環境会議」や「リサイクルフェア」など草津市役所で行われるイベントでブース出展やポスター展示を行ったり、地域の方々が行っている清掃活動などに参加したりと地域での活動を積極的に行っています。

## これまでの成果

ペットボトルキャップ回収の活動においては、毎月約10kgのペットボトルキャップを回収しており、設置し始めた当初と比べて学生の認知度は高くなっていると感じています。「びわこの日基金」への募金という目的だけでなく、学生の環境意識改善というもう一つの目的のためにも、回収率を上げるための取り組みを行っています。

地域での活動においては、活動を通じて様々な方々との繋がりができ、その方々との交流がメンバーの活動に対するモチベーションの向上に繋がっています。

## 今後の課題・目標

BKCの学生数を考えると、月10kgのペットボトルキャップはまだまだ少なく、回収率アップのための取り組みが必要です。少しでも多くの人にペットボトルキャップを分別してもらうため、回収ボックスの工夫、啓発ポスターの掲示などの取り組みを考えていきたいと思えます。またその他の活動においても、現在の活動を継続しつつ、新しい活動も行っていきたいと考えています。



ペットボトルキャップの回収



工作教室のお手伝い@みなくさまつり



外来魚駆除@琵琶湖



集合写真@自然林



教育



学生の活躍



社会・地域連携



スポーツ&amp;カルチャー

## 学生の課外自主活動

# 草津をSwingする町へ！！

### 本学担当

JAZZ CLUB  
(学友会 学芸総部 公認団体)

### 主な連携先

滋賀県立玉川高等学校

### 活動期間

2016年度から現在

### 主な活動地域・場所

草津市、  
滋賀県立玉川高等学校、  
BKC

## 活動内容

私たち立命館大学JAZZ CLUBは、活動拠点は衣笠にあります。BKCでも「Σ Spirits Jazz Society」という総勢18名からなるバンドが、毎週火曜日、日曜日に活動しています。Σも今年で結成13年目を迎えますが、もっと地域に何か貢献したいという想いから、草津市の「ひとまちキラリ助成金」の援助をいただき、このプロジェクトを行っています。主な活動としては、ジャズの力によって草津市がもっと活気あふれる町になるように、地元・玉川高校の高校生とジャズの魅力を理論から演奏まで一緒に勉強をし、合同バンドを作って、商業施設などの地域の方々がお集まりになるところでライブをさせていただきました。

## これまでの成果

まず草津市にあるA・SQUAREという商業施設で、合同バンドの野外ライブを敢行しました。こちらのライブは、お買い物される大勢のお客さんが足を止めてくださり大盛況のうちに終わりました。このイベントを企画してくださった方々にも好評をいただき、来年度も開催をとのお言葉をいただきました。また、11月に行われたJAZZ CLUB主催のアミカホールでの合同ライブも非常に盛り上がり、昨年よりも動員数が増加しました。玉川高校の生徒の保護者の方々からお声をかけていただき、保護者の方々にとっても、お子さんのご活躍が見られる機会になったのではないかと思います。そして、私たち大学生と高校生との距離が近くなり、私たちとしても地域とのつながりを再認識し、より地域密着型で活動していこうと改めて思いました。

## 今後の課題・目標

今回は初めてのプロジェクトであったため、計画が遅かったり、ライブをする上での確認不足などが目立ってしまいました。また今までは2回ほどの合同ライブで終わってしまったため、もっと裾野を広げ、活発にライブを敢行していきたいです。また、玉川高校のほかにも、社会人バンドの方々や、ほかの地域の学校の団体とも協力し、町が総出になる、より大きなプロジェクトにまで発展させ、地域に貢献できるように努めていきたいです。今、大津市では「大津ジャズフェスティバル」を筆頭に音楽が盛り上がっています。草津市もこういったイベントを通して盛り上げていくことも面白いだろうなと思います。それにはまだまだ時間はかかりますが、そのきっかけになればよいなと考えています。

〈文・BKC部長(副部長) 播磨 鏡人(経済学部3回生)〉



練習風景 (1)



練習風景 (2)



A・SQUARE での野外ライブ



アミカホールライブの様子 (1)



アミカホールライブの様子 (2)



## 学生の課外自主活動

## ツリーハウスからはじまるつながりの輪

## 本学担当

学生団体Clown  
2016年度学びのコミュニティ集団形  
成助成金採用団体（※注）

## 主な連携先

兵庫県丹波市、滋賀県米原市、  
京都府京都市

## 活動期間

2014年度から現在

## 主な活動地域・場所

兵庫県丹波市、滋賀県米原市、  
京都府京都市（主に次に建て  
るツリーハウスの周りで活動  
するため毎年変わります）

## 活動内容

学生団体Clownは「ツリーハウスからはじまるつながりの輪」という理念を元に、ツリーハウス製作を通じた地域の活性化を目標とする団体です。日頃授業で学んでいる建築の知識を最大限に活かし、設計から施工までをすべて学生だけで行います。また、ツリーハウスを作って終わりではなく、作った後にその敷地でツリーハウスを絡めたイベントを開催することで、ツリーハウスの周知を図っています。製作したツリーハウスの7年後の解体まで、メンテナンスや定期的なイベントを行いながら、地域の方々と深く関わっていきます。建築の学生でしか実現できない形式で多くの地域と繋がり盛り上げていくことを目指しています。

## これまでの成果

2016年の段階では兵庫県丹波市にツリーハウス「いろは」、滋賀県米原市にツリーハウス「あかす」、京都府京都市にツリーハウス「このは」の3箇所にてツリーハウスを建ててきました。ツリーハウスを設計する際に学生のアートを複数出し、地域の人に投票してもらう設計講評会というものを開催することで、地域のニーズにあったツリーハウスを設計してきました。また地域の子供達にもものづくりの楽しさを知ってもらうために、小学生を対象としたものづくりのワークショップを開催しました。

## 今後の課題・目標

たくさんの地域でツリーハウスを作ることで、地域と地域がツリーハウスを通して繋がることができると考えています。今後もたくさんのツリーハウスをいろんな地域で製作し、ワークショップやイベントなどで多くの方々と“つながり”を作っていきたいと思っています。

〈文・齋藤 翔太（理工学部3回生）〉

※注：「学びのコミュニティ集団形成助成金」とは、本学の成長支援型奨学金制度のひとつです。学部学生の小集団による自主的な学習活動「学びのコミュニティ」の推進を目的とするもので、正課外活動において高い成果が期待される団体に対して活動経費の一部を助成します。



ツリーハウス作りの様子（1）



ツリーハウス作りの様子（2）



ツリーハウス作りの様子（3）



ツリーハウス作りの様子（4）



ツリーハウス作りの様子（5）



教育



学生の活躍



社会・地域連携



スポーツ&amp;カルチャー

## 学生の課外自主活動

# 岩手県大船渡市「碁石海岸観光まつり」

### 本学担当

災害復興支援室、学生オフィス

### 主な連携先

岩手県大船渡市

### 活動期間

2013年度から現在

### 主な活動地域・場所

岩手県大船渡市碁石海岸

## 活動内容

東日本大震災の翌年に岩手県大船渡市と災害復興に向けた連携協力に関する協定を締結して以降、本学は教育・研究を通じた復興支援における連携を進めています。本取り組みもその中のひとつで、課外自主活動を通じた「課外活動便」として実施しています。碁石海岸観光まつりは、大船渡に春を告げるお祭りとして毎年5月4日～5日に開催されており、本学の課外自主活動団体はステージ企画や体験企画に参加・協力しています。

## これまでの成果

学生は、大船渡の現状や災害復興支援に関する事前研修を受けてから大船渡に赴きます。祭り前日には観光ガイド・語り部や資料館、大船渡在住の校友のみなさまとの交流会などを通じてさらに理解を深め、当日にはパフォーマンス披露や体験企画を通じて大船渡の方々と交流を図ってきました。今では「立命館大学復興応援ステージ」が恒例となっています。

### 【参加団体（延べ9団体76名）】

2013年度：Fusion Of Gambit, R.D.C.（立命館ダンスサークル）

2014年度：カラーガードサークルLUSTER、書道部

2015年度：ライフサイエンス研究会、モダンジャズバレエ部

2016年度：モダンジャズバレエ部、書道部、奇術研究会マジックプレイヤーズ

## 今後の課題・目標

大船渡は、被災した東北地方の中でも比較的復興が進んでいる地域ではありますが、引き続き支援を必要としています。これまでの成果を踏まえ、「課外活動便」が単に学生団体を派遣するだけに終始することなく、今後も大船渡のニーズに応え学生の学びと成長に資する取り組みとなるよう努めて参ります。そして、本取り組みの成果は2016年4月に発生した熊本地震への復興支援にもつなげていきたいと考えています。



モダンジャズバレエ部のステージ



マジックプレイヤーズのステージ



書道部による書道体験コーナー



大船渡のお祝い行事「餅まき」



教育



学生の活躍



社会・地域連携



スポーツ&amp;カルチャー

## 学生の課外自主活動

# 福井県若狭町「熊川いっぷく時代村」

### 本学担当

経営学部八重樫研究室、学生部

### 主な連携先

福井県若狭町

### 活動期間

2014年度から現在

### 主な活動地域・場所

福井県若狭町熊川宿

## 活動内容

福井県若狭町熊川宿は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された江戸時代の宿場町の景観を有する地域ですが、近年は少子高齢化の進行が著しく、空き家・空き地の増加などにより地域活力の低下に悩む地域のひとつでもあります。本学経営学部の八重樫研究室は、同地区の活性化プロジェクトに2013年度から取り組んでおり、一帯では最大のお祭り「熊川いっぷく時代村」の運営にも携わっています。学生部は八重樫研究室からの協力要請に基き、お祭りの実行委員会に対して、パフォーマンスやワークショップ企画が可能な課外自主活動団体を紹介しています。

## これまでの成果

2014年度は、宿場町の景観に馴染むパフォーマンスやワークショップ企画ができる団体の中から7団体59名が参加しました。2015年度は3団体23名の参加と留学生14名の見学企画があり、2016年度には5団体43名が参加しました。パフォーマンスやワークショップには、毎年新しい要素を取り入れるように心がけています。

### 【参加団体】

2014年度：和太鼓ドン、多国籍音楽サークル「出前ちんどん」、奇術研究会マジックプレイヤーズ、書道部、琵琶湖漫画研究会、吟詠剣詩舞サークル、Healing Circle OBAN

2015年度：和太鼓ドン、多国籍音楽サークル「出前ちんどん」、奇術研究会マジックプレイヤーズ

2016年度：和太鼓ドン、多国籍音楽サークル「出前ちんどん」、奇術研究会マジックプレイヤーズ、書道部、手芸サークルRowan

## 今後の課題・目標

回を重ねるごとに、立命館大学のサークルの参加がお馴染みとなりつつあります。学生も八重樫研究室との連携を経て、地域活性化プロジェクトの内容を理解し、それぞれの団体が自身の企画に熊川の課題解決の一助となるような要素を取り入れる工夫も出てきました。今後も、熊川地区の活性化に寄与しながら、学生には自身の活動の意義や本質を再発見・再確認する機会にもなるように支援していきたいと考えています。



和太鼓ドンの練り歩き



出前ちんどんの路上演奏



マジックプレイヤーズのクロスアップマジック



書道部ワークショップ作品紹介



手芸サークルRowanのアイロンビーズ体験



## 学生の課外自主活動

## 環境クリーン・ウォーキング大作戦～地域清掃活動～

## 本学担当

学生団体  
(特別事業部、ボラっちえ、Reco.lab)

## 主な連携先

桜プロジェクト  
(桜ヶ丘町内ボランティア団体)

## 活動期間

2013年度から現在

## 主な活動地域・場所

桜ヶ丘町内、BKC近隣

## 活動内容

本企画は、BKC北側に隣接する桜ヶ丘町内会内コミュニティ「桜プロジェクト」の環境チームのみなさんが中心となり、地域の方、玉川中学校、本学の学生が協働して実施する清掃活動で、今年で4回目の開催となります。今回本学からは、特別事業部（学友会中央パート）、ボラっちえ（ボランティアサークル）、Reco.lab（環境系サークル）が参加しました。桜プロジェクトの皆さんは、サービスラーニングセンターの授業等、日ごろより多くの場面で本学と関わってくださっています。



各自が拾ったゴミをブルーシート上へ

## これまでの成果

当日は松下中央交差点付近に集合し、それぞれの団体が自己紹介をした後、3つのコースに分かれて出発、ゴミを拾いながらゴールとなるBKC正門前を目指しました（かがやき通り経由、パナソニック東口経由、笠山口経由）。ゴミを拾うことで近隣地域をきれいにすることはもちろん、地域の方や玉川中学校生徒のみなさんとの交流をすることができました。最初に各団体の紹介もしているため、興味を持って質問をたくさんしていただけた、と参加した学生は語っていました。ゴールに到着すると、ブルーシート上に集めてきたゴミを広げ、分別作業を実施。最後に、当日の成果を参加者全員で確認し、解散しました。



拾ってきたゴミの分別作業

## 今後の課題・目標

桜プロジェクト環境チーム代表の井上さんは、「毎年同じ時期に実施しているが、回を重ねるごとにゴミは確実に減っている」とおっしゃる一方、「それでもゴミはまだあるため、いろんな団体が継続して参加することが重要」と語ってくださいました。本学としても、散在するゴミを減らすことはもちろん、身近な地域の環境について考える契機となり、またその思いを地域の方と共有できるイベントとして今後も継続して参加できればと思います。



成果の確認



学生の活躍



グローバル

社会・  
地域連携

## 地域交流

## 留学生による草津市内小・中学校との交流活動

## 本学担当

BKC国際教育センター（BKC国際課）

## 主な連携先

草津市内小・中学校

## 活動期間

2011年度から現在

## 主な活動地域・場所

草津市内小・中学校、  
BKC

## 活動内容

2016年6月23日（木）、草津市内の小・中学校と立命館大学の留学生との交流活動の一環として、BKCエポック立命21にて、矢倉小学校4年生110名が外国人留学生4名（国籍は、ドイツ、フランス、メキシコ、モロッコの4ヶ国）と国際交流を行いました。これまでは留学生が小中学校を訪問する交流が主流でしたが、今回は小学生がBKCを訪問する形で実施しました。今回の企画は、国や言葉が異なっても仲良く交流できるという学習体験を通じ、小学生が普段馴染みのない国の留学生と交流することで、外国人の方への親近感をもつことを目的としています。

## これまでの成果

当日は、留学生による英語での自己紹介、小学生から留学生へのインタビュー、留学生の母国語での挨拶紹介および簡単なゲームを行いました。小学生から留学生へのインタビューは、「なぜ日本に留学にきたか」「日本で一番驚いたことは何か」「日本で一番好きな場所はどこか」「母国のどんな町に住んでいるか」などで、留学生からの英語での回答に対して、小学生たちは熱心に話を聞いていました。また、説明の英語が難しい場面では、留学生が日本語や身振り手振りで説明をすると、内容が分かった小学生が他の小学生に次々と説明をするなどしていました。最後に、世界共通の遊びとして、「じゃんけん」ゲームを留学生の母国語で小学生と一緒に楽しみました。

その後、BKCキャンパスツアーを行い、小学生は大教室のいすに座って大学生気分を味わったり、図書館やそこで勉強している大学生の姿を目のあたりにしたり、生協ショップや食堂を訪問するなど、興味津々でした。

交流中、小学生は「もっとお話を聞きたかった!」「楽しかった!」ととても満足する一方で、留学生も「小学生と一緒に交流できて、本当に楽しかった、とても良い思い出になりました。」などと笑顔で話していました。参加した小学生にとって、外国の文化や生活について興味をもつことで、世界へ目を向ける良い機会となった一方、留学生にとって母国の文化や生活を伝えることができました。

## 今後の課題・目標

子どもたちと留学生の双方にとって、貴重な国際交流の機会となるこのような企画に、今後も取り組んでいきたいと考えています。



留学生による紹介



参加した矢倉小学校児童

## 地域交流

# 冬の国際交流企画「異文化フェスティバル」

### 本学担当

BKC国際教育センター（BKC国際課）、  
TISA

### 主な連携先

山形県在住の農家、近隣住民の皆様、  
学生団体

### 活動期間

1996年度から現在

### 主な活動地域・場所

BKC

## 活動内容

BKCセントラルアークにて、2016年12月9日（金）に、BKC冬の国際交流企画「第22回異文化フェスティバル～餅つき大会」を開催しました。

この交流企画は、留学生と日本人学生および近隣住民との相互交流を進めることを目的として毎年度実施しているもので、TISA（留学生の生活サポートや国際交流企画を行う団体）が主催しています。毎年度協力いただいている山形県在住の農家の方々や近隣住民の方々の支援のもと、留学生と日本人学生および近隣住民の方々が一体となって、留学生体験企画や学生団体によるパフォーマンスを行いました。特に「餅つき体験」では、留学生に「餅つき」を紹介し、実際に体験してもらうことで、日本の伝統文化に直接触れ合ってもらいました。

## これまでの成果

交流企画当日は、冷たい風が吹くなか、インドネシア、バングラデシュ、マレーシア、ネパール、ケニア、エチオピア、アフガニスタン、ベトナム、中国などから来日した留学生と、日本人学生や教職員、近隣住民の約200名が参加しました。「餅つきは初体験」という留学生も多く、開始前から興味津々の様子でした。はじめは戸惑っていた留学生も、重い杵を握りしめながら餅つきに挑戦し、まわりの学生たちからの声援や拍手を受けて奮闘していました。

準備した15キロの餅米で、計5回にわたり餅つきを行い、あんこ・きなこ・納豆・砂糖醤油と4種類にアレンジされたお餅をみんなで味わいました。また、この国際交流企画を通じて、留学生と日本人学生とが積極的に交流する姿はとても印象的でした。

体験ブースでは、今年度は「押し花」「書道」「折り紙」の三つのブースを設けました。留学生だけではなく、近隣住民の子供たちもブースを訪問し、楽しい交流体験となりました。また、マジックサークルのメンバーからのマジックショーがあり、会場の雰囲気をさらに盛り上げてくれました。学生団体によるパフォーマンスの終盤には、バイオリン演奏団やピアノサークルによる演奏会もあり、素敵な音色を聴きながら、心癒されるひとときとなりました。

## 今後の課題・目標

餅つき体験などの国際交流企画を通じて、参加者同士が言葉の壁を超えて積極的に交流していた様子がとても印象的でした。この交流企画を通じて、留学生と日本人学生、地域住民との交流の輪が広がり、大変有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

留学生が今後も有意義な学習生活を送ることができるよう、今後も引き続き様々な生活支援を行いながら、国際交流企画を進めていく予定です。



書道体験ブース



餅つき体験



集合写真

地域交流

# BKCインターナショナルハウス (BKC国際寮) と近隣住民の皆様との国際交流「Regional Exchange Party」

**本学担当**

BKC国際教育センター (BKC国際課)、  
レジデント・メンター (RM)

**主な連携先**

大津市松が丘4、5、6丁目自治会

**活動期間**

2012年度から現在

**主な活動地域・場所**

BKCインターナショナル  
ハウス (BKC国際寮)

## 活動内容

立命館大学BKCインターナショナルハウス (BKC国際寮) では、国際寮の近隣住民の方々と様々な国から立命館大学で学ぶために来日し居住している国際寮生との交流を目的として、「Regional Exchange Party」を開催し、様々な企画を実施しています。これらの企画は、国際寮に住む外国人留学生の生活支援を行っているRM (レジデント・メンター) によるものです。これまでも、国際寮生が自分の母国の料理を近隣住民の方々に振舞ったり、逆に近隣住民の方々が餅つきイベントをしてくださったり、一緒にゲーム等の異文化交流を行ったり、様々な企画で近隣住民の方々と国際交流を進めています。



集合写真

## これまでの成果

2017年1月の交流企画では、近隣住民の方々約30名、国際寮生およびRM約40名の計70名余りの方が参加しました。まず国際寮生が参加者のみなさんに母国の料理を振舞いました。振舞った母国の料理は約20種類にもおよび、会場に世界中の料理が並びました。会場では「tasty!」「spicy!」「beautiful!」といった歓声が飛び交うなか、はじめてみる異国の料理に感動し、味わう様子が至る所で見られました。また、料理の素材や調理方法など、各国の料理にまつわる会話を楽しみながら、色とりどりの料理を堪能しました。

食事のあとは、国際寮生と近隣住民の方々でグループ分けをしたうえで、「絵描きしりとり」や「似顔絵大会」をしたり、グループでゲームをするなど、交流を楽しみました。

参加いただいた近隣住民の方々からは、「国際寮の企画では、いつも外国人留学生といういろいろな交流ができるので、とても楽しみにしています。ぜひこれからもこういった企画を続けてほしいと思います」といった温かい言葉もいただきました。



ゲームの様子

## 今後の課題・目標

BKC国際寮は、これからも近隣の方々と外国人留学生の双方にとって貴重な国際交流の機会となるよう、地域住民の方々とも協力しながら、ともによりいっそう地域に開かれた寮を目指していきたいと思えます。



学生の活躍



グローバル

社会・  
地域連携スポーツ&  
カルチャー

## 地域交流

## 新宮神社例祭～御神輿担ぎ手としての参加～

## 【本学担当】

BKC国際教育センター（BKC国際課）、  
BKC地域連携課

## 【主な連携先】

草津市野路町内会

## 【活動期間】

2010年度以前から  
現在

## 【主な活動地域・場所】

草津市野路町

## 活動内容

BKCのある草津市野路町では、毎年5月3日に「新宮神社例祭」を執り行っています。近年は、野路町のみなさんのご厚意により、本学の学生にも御神輿の担ぎ手としてお声掛けいただいています。日ごろより交流のあるスポーツ健康科学部の大学院生や、留学生（タイ・中国・ベトナム出身）も参加し、共に汗を流しました。

## これまでの成果

新宮神社を出発し、御旅所へ向かいました。途中で休憩の際には、町民のみなさんが差し入れをしてくださったり、野路町壮年会のみなさんと声をかけあったり交流をしながら、新宮神社へ戻りました。

最後には氏子代表の方より、本学学生が参加したことによって「地域連携」「国際交流」になったとの言葉をいただきました。今回、多くの地域のみなさんと交流する貴重な機会となっただけでなく、特に留学生にとっては神輿を担いだり、法被を着たりするなど、日本や地域の文化を体験することができる良い機会となりました。

## 今後の課題・目標

野路町のみなさんには、日ごろより学生の安心・安全を守る活動にご協力いただいております。さらにこういった活動への参加の機会も設けていただいております。今後も町内のみなさんをはじめ、近隣地域における国際交流活動に積極的に取り組んでいきたいと思えます。



お借りした法被を着用



小学生の御神輿



指導を受けながら後ろから綱を引く留学生



最後に盛大に担ぎ上げる様子



グループごとに記念撮影

## 地域交流

# 大津市「100回ミーティング」への参加 ～留学生と留学生支援学生が市長と対話～

### 本学担当

BKC国際教育センター（BKC国際課）

### 主な連携先

大津市

### 活動期間

2016年度

### 主な活動地域・場所

BKCインターナショナル  
ハウス（国際寮）

## 活動内容

大津市が実施されている本取組みは、市民と市長が直接対話できるという企画で、市長が本学の国際寮を訪問され、国際寮在住の留学生や留学生支援学生（レジデント・メンター、通称：RM）、職員あわせて約20名と意見交換を行いました。当日は「生活しやすい環境や支援」「大津市の観光」といった観点で実際に大津市（日本）に住んでみて感じたことを外国人留学生の視点からお話しました。当日の進行はRMの学生がつとめました。

## これまでの成果

当日は、ハンガリー、ミャンマー、中国、インド、コートジボワール出身の留学生が参加しました。日本で生活しているなかで、行政手続きやバス乗車について英語標記がないことで苦戦しているといったことや、大津市企画調整課インバウンド推進室と共に企画・実施したバスモニターツアーに参加したことで、大津の自然や文化、寺社など素晴らしい場所がたくさんあることを知ることができたといった意見があったほか、国際寮で実施している交流パーティについても紹介しました。外国人留学生の視点から、またサポートをしているRMの立場から直接市長にお話をすることができ、市長からもご質問をいただくなど、活発な意見交換をすることができた有意義な一日となりました。

## 今後の課題・目標

日ごろよりお世話になっている青山・松ヶ丘地域を中心とする大津市の皆様に感謝すると共に、市長からも地域交流の取組みはぜひ継続してほしいとのお話もいただきました。今後も国際寮にて交流パーティを実施するなど、地域との交流機会も継続しながら、外国人留学生も地域の一員として協働していきたいと思えます。



大津市長に意見を伝える留学生（1）



大津市長に意見を伝える留学生（2）



集合写真



学生の活躍



社会・地域連携



スポーツ&カルチャー

## 地域交流

# 真夏のワクワク体験！ ～SO-AIプロジェクト2016への参画～

### 【本学担当】

学生団体、BKC地域連携課

### 【主な連携先】

公益社団法人草津青年会議所

### 【活動期間】

2016年度

### 【主な活動地域・場所】

矢橋帰帆島公園（イナズマフードグランプリ会場）

## 活動内容

8月6日～7日の2日間にわたり開催された本企画は、草津青年会議所の50周年記念事業として実施されたイベントで、「青少年育成を目的とした体験型ブース」として、本学の学生団体も出展しました。

各団体は草津青年会議所の担当者の方と約2ヶ月前から準備をはじめ、お子様を中心に楽しんでいただけるイベントを企画・運営しました。

### 【参加団体】

ライフサイエンス研究会、書道部、草津天文研究会、奇術研究会マジックプレイヤーズ

## これまでの成果

各団体が持つ、アカデミックな知識、技術を用いた体験型ブースを企画しました。ライフサイエンス研究会は「科学」を身近に感じられる簡単な実験、書道部は好きな文字を書くことができるオリジナルうちわ制作、草津天文研究会は星座早見盤作り、マジックプレイヤーズは間近でのマジック披露を行い、日ごろの練習・研究の成果を披露するだけでなく、お子さんとの交流を楽しみました。お子さんからも「すごい!!」といった声が多数聞かれ、笑顔で参加してもらうことができました。草津青年会議所担当者の方々が、ブースを運営しやすいよう一緒に準備を進めてくださったこともあり、当日は多くの来場者と交流することができました。

## 今後の課題・目標

「SO-AIプロジェクト」に参画する形で協働をした今回に引き続き、草津青年会議所や草津商工会議所をはじめとする近隣企業のみなさんともつながりを持ち、共に地域のまちづくりに貢献していきたいと思います。



星座早見盤づくり（草津天文研究会）



おもしろ科学実験の披露  
（ライフサイエンス研究会）



書道体験ブース（書道部）



レッツエンジョイマジック  
（マジックプレイヤーズ）



学生の活躍



研究



社会・地域連携



スポーツ&amp;カルチャー

## 地域交流

## 第6回みなくさまつり ～えんでつなぐみなみくさつ～

## 本学担当

学生団体、  
サービ斯拉ーニングセンター、  
BKC地域連携課

## 主な連携先

第6回みなくさまつり実行委員会（草津市、近隣町内会・まちづくり協議会、草津商工会議所、草津青年会議所 他）

## 活動期間

2011年度から現在

## 主な活動地域・場所

JR南草津駅西口特設会場

## 活動内容

南草津の愛称「みなくさ」の名前がつけられた本まつりの第1回目は、南草津駅の新快速停車実現を記念したイベントとして2011年3月12日に予定されましたが、前日の東日本大震災の発生を受け中止されました。しかし、その後「みなくさ」地域における町おこしのイベント実施へ向け、近隣自治会や草津市、草津商工会議所、草津青年会議所と本学を中心に実行委員会を結成し、復興支援も掲げたイベントとして同年12月に実施されました。こうして、これまで一体となって協働する機会があまりなかった各種団体が企画・運営を行い、住民同士の繋がり、老若男女を問わない温かな人の輪を培ってほしいとの思いがこめられた「えんでつなぐ」をテーマに今年で6回目の開催となりました。

## 【2016年度参画団体】

ヘルスポ+R、Ritsumei Racing（内燃機関研究会）、Healing Circle OBAN、奇術研究会マジックプレイヤーズ、agRits、出前ちんどん、Song-genics、モダンジャズバレエ部

## これまでの成果

本学では、みなくさまつりを「地域の方々への感謝の気持ちを表し地域の方々との絆を確認する機会」と位置づけて取り組んでいます。ブース出店をした5団体は参加者が「体験」できる取組みを行ったり、地域に根ざした試食販売、展示企画等を通じて、日ごろの活動の成果を来場者のみなさんに知っていただく機会となり、また交流を楽しみました。ステージ出演団体も発表の機会を設けていただくだけでなく、出演後も多数お声掛けをいただき、大変嬉しいと語っていました。さらに、わくわく広場では「びわこてらこや」や「びわこネット」、志津南学区まちづくり協議会のブースにて当日運営に参画する学生も多数見受けられ、地域と協働した企画を実現することができました。また地域の方々からも学生と一緒に盛り上げることができて嬉しいとの声をいただきました。

## 今後の課題・目標

今回も9団体、100名を超える学生が参画しました。今後もイベントに一次的に参加するだけでなく、こういった「えん」を通じて今後の「みなくさ」地域の発展へ貢献できるように連携を強化していきたいと思えます。



ステージ出演（出前ちんどん）



ステージ出演（モダンジャズバレエ部）



立命館ブース（OBANによる足もみ）



立命館ブース（Ritsumei Racing）



小さいお子様との交流の様子



学生の活躍



社会・地域連携



スポーツ&カルチャー

## 地域交流

# 2016玉川萩まつり ～すきです玉川 わたしも参加 つくるよろこび～

### 本学担当

学生団体、BKC地域連携課

### 主な連携先

玉川萩まつり実行委員会（学区内の町内会、地域団体、玉川幼稚園・小・中学校・高等学校、南消防署 他）

### 活動期間

2012年度以前から現在

### 主な活動地域・場所

玉川小学校、玉川市民センター、湖南広域消防局南消防署

## 活動内容

BKCが隣接する玉川学区のまちづくり協議会主催の本イベントは、学区内のさまざまな地域団体や町内会、本学を含む教育機関、湖南広域消防局南消防署等から実行委員会を編成し、会場となる玉川小学校・玉川幼稚園・南消防署にてステージ発表やフリーコーナー、模擬店、ふれあいコーナー、展示コーナー、消防フェアなどが各団体により実施されました。本学は実行委員として運営に携わるほか、学生団体もステージ出演やブース出店にて参画しました。

### 【2016年度参画団体】

料理サークル Tri-c、チアダンスサークル BLENDERS、留学生団体

## これまでの成果

実行委員会は、各種団体から参画する約50名のメンバーで編成されており、普段あまり交流がない方々とも協働する機会となっています。料理サークルTri-cは焼き菓子やおにぎりを販売しました。Tri-cは日ごろより玉川市民センター内の調理施設を活動場所として使用させていただいているご縁で、萩まつりにも毎年参画しています。他にも、韓国からあげ販売では本学の留学生が出店しており、玉川学区のマンションでお世話になっている留学生達が日本の「まつり文化」に触れられる機会となっています。さらにステージではBLENDERSがチアダンスを披露しまつりを盛り上げました。

## 今後の課題・目標

当日は、玉川小学校児童をはじめとする多くの来場者があり、多くの地域の方と交流することができました。今後もこういった地域イベントに参画させていただくことで身近な地域での交流を深め、地域の発展に貢献をしていきたいと思ひます。



Tri-cのおにぎり販売 (1)



Tri-cのおにぎり販売 (2)



BLENDERSのステージ発表 (1)



BLENDERSのステージ発表 (2)



学生も参加する「ふるさと玉川民具を照らす会」



学生の活躍



社会・  
地域連携



スポーツ&  
カルチャー

## 地域交流

# ジュニアスポーツフェスティバル KUSATSU 2016

### 本学担当

スポーツ健康科学部、  
BKC学生オフィス、BKC地域連携課、  
学生団体

### 主な連携先

草津市教育委員会

### 活動期間

2011年度から

### 主な活動地域・場所

BKC

## 活動内容

BKCクインスタジアムにて毎年10月頃開催されています。本企画は、草津市教育委員会が主催となり、市内全6年生児童約1300名がBKCクインスタジアムに集い、「スポーツを通して、すべての子どもに感動を」をコンセプトに開催され、今年で6回目となります。学級対抗種目として「長縄8の字跳び」、選手種目として「4×100m代表リレー」が実施されるほか、「チャレンジわくわくタイム」、「スポーツ鑑賞」の時間も設けられているのが特徴です。

## これまでの成果

チャレンジわくわくタイムでは、以下の団体が「体験ブース」を設け、グループに分かれた児童のみなさんが巡回し大学スポーツを体験しました。

### 【2016年度参画団体】

- ・アメリカンフットボール部…タックル、キャッチボール体験
- ・男女ラクロス部…キャッチボール、シュート体験
- ・男女陸上競技部…ハードル、短距離走体験
- ・応援団チアリーディング部 PEEWEES!…「BANANA」ダンス体験
- ・立命館Ludolph…アルティメット（フリスビー体験）
- ・バントワリング部…バントワリング体験
- ・スポーツ健康科学部…体力強化トレーニング・ボール回し遊び等

スポーツ鑑賞の時間には、チアリーディング部による演舞披露と、代表リレーを勝ち抜いた小学生チームが男女陸上競技部との白熱したレースを展開し、大学スポーツならではの演技やスピード、迫力を感じていただけました。

## 今後の課題・目標

本企画は体力強化や競技力の向上はもちろん、運動の楽しさ、仲間との協力、一生懸命がんばることの大切さなど多くのことを学ぶことも期待されています。大学生も普段自分たちが競技するスポーツの技術や楽しさを伝えるだけでなく、教えることの楽しさや普段交流する機会の少ない小学生と触れ合うことで多くを学びました。今後もスポーツを通じた地域交流に積極的に取り組みたいと思います。



バントワリング体験



体力強化トレーニング



ハードル、短距離走体験



アメフトタックル体験



最後はハイタッチでお別れ

地域交流

# 草津市駅伝競走大会

**本学担当**

男子陸上競技部、BKC地域連携課

**主な連携先**

草津市教育委員会、  
(公社)草津市体育協会 他

**活動期間**

2010年度以前から  
現在

**主な活動地域・場所**

BKC

## 活動内容

草津市制開始時から毎年開催されている本大会は近年、クインスタジアムをスタート、ゴールとしたBKC構内をコースとして設定し、多くの市民の方が参加されます。実行委員会には伊坂忠夫教授（スポーツ健康科学部、男子陸上競技部部長）が参画しており、男子陸上競技部が大会監察員として大会をサポートしています。さらに男子陸上競技部はオープン参加として出場しているほか、本学の教職員や学生チームも出場しています。

## これまでの成果

男子陸上競技部は、様々な地域交流に参画しており、本駅伝競走大会においても監察員として専門的にサポートをするほか、オープン参加として出場することで市民のみなさまにその圧巻のスピードを体感してもらっています。多くの歓声を受けながら独走する姿は毎年の「名物」として定着しており、チームを身近に感じていただける機会となっています。草津市にて本大会のようなスポーツイベントが開催されることで、市民のみなさまには少しでもスポーツに親しんでもらう契機となり、また本学としても大学構内へお越しいただく機会となっています。

## 今後の課題・目標

クインスタジアムをはじめ、2016年度に完成した「BKCスポーツ健康 commons」等も活用し、スポーツによる健康増進に寄与できるよう、今後も草津市と協働していきたいと思えます。また、地域のみなさまに大学構内へお越しいただけるような取組みを継続して実施していきます。



開会式の様子



クインスタジアムよりスタート



BKC構内を回るコース



監察員をつとめる男子陸上競技部員



1位でゴール



学生の活躍



社会・  
地域連携



スポーツ&  
カルチャー

## 地域交流

# Song-genics (学友会 学芸総部 任意団体)

### 種目等

アカペラ

### 部員数

200人

### 主な連携先

滋賀県草津市(みなくさまつり)、  
立命館守山高校、  
他大学アカペラサークル 他

### 主な活動地域・場所

滋賀県南部、BKCフォレ  
ストハウス

## 活動内容

私たちのサークルはBKCに拠点を置いており、日々アカペラ技術向上の為に練習を重ねています。その成果を発揮する場として地域交流はもちろん、サークルとしてのライブ、大学外でのアカペライベント等、様々な場でアカペラの演奏を披露しています。部員数がとても多い事もあり、バラードやロック、J-POPから他国の音楽まで様々なジャンルの音楽に携っており、地域交流においてもどのような依頼にも対応できるようにしています。このようにアカペラの演奏する場を広げる事で、沢山の方にアカペラの魅力を知ってもらえるように日々精進しています。

## これまでの成果

“関西アカペラジャンボリー”通称「KAJa」という、関西では最大かつ出場困難なアカペラ大会に出場したり、更に全国のアカペラ大会においても優勝バンドを輩出したりして数々の賞を獲得しています。有名なイベントで言えば「ハモネブ」というTV番組に出演させて頂いたり、最近では「探偵ナイトスクープ」でサークルを取り上げて頂いたり、様々な所で活躍の場を与えてもらっています。そのこともあってか、最近では地域交流のご依頼も増え、アカペラに興味を持ってくださる方も増えたように感じています。

## 今後の課題・目標

現在、私たちは過渡期であると考えております。アカペラという形態に限界はなく、これまで以上に多様なジャンルにチャレンジしていきたいです。そしてより多くの地域交流のご依頼にお応えし、多くの人にアカペラに興味を持っていただき、またその魅力を知っていただけるようこれからも活動していきます。



みんなが知っている邦楽を歌うバンド



カッコいい洋楽を歌うバンド



アイドルグループの曲をアカペラで歌うバンド



全体写真

〈文・齊藤 男 (理工学部3回生)、吉田 脩人 (情報理工学部2回生)〉



学生の活躍



社会・  
地域連携



スポーツ&  
カルチャー

## 地域交流

# アコースティックギターサークル (学友会 登録団体)

### 種目等

アコースティックギター

### 部員数

119人

### 主な連携先

笠山町内会、草津市立矢倉小学校、  
草津市立草津第二小学校、  
近江鉄道ゆうグループ

### 主な活動地域・場所

BKC、OIC (大阪いばらき  
キャンパス)

## 活動内容

アコースティックギターサークルでは、アコースティックギターを中心とした音楽を通して交流をしています。演奏の形は、弾き語りや歌詞のないインストという演奏をしており、アコースティックギターだけの一人での演奏や、複数で違う楽器を組み合わせるなど、幅広い形で演奏をしています。普段の活動では、毎週月曜日と木曜日に集まりミーティングや演奏の練習、サークル員同士の交流をしています。学園祭での演奏を主として、他に、月に一回の演奏会に向けてそれぞれが練習に励みます。大学に入ってから楽器を始めた人も多く、みんなが気軽に自由に音楽を楽しめることを目標に活動しています。



矢倉小学校での地域交流

## これまでの成果

今年度の地域交流では、新しい団体から複数依頼があり、新しいつながりを得ることができました。主にお祭りでの催しに参加させていただきましたが、普段の練習の甲斐もあってイベントの盛り上げの一翼を担うことができました。また、矢倉小学校や草津第二小学校では、小学生たちとギターを通していろんな曲と一緒に歌い交流を深めました。多くの団体の観客の方から「来年もまた来てほしい」との声をいただき、皆さんの思い出となる交流ができました。



かさやまふれあい夏まつり

## 今後の課題・目標

今後も引き続き、聞いてくださる方にとってより素敵な思い出となるように、練習に励みたいと思います。また、今までに交流して下さった方はもちろん、経営学部の移転をきっかけとしてOICでもサークル活動をはじめているので、遠い地域まで広く地域交流を通してアコースティックギターサークルの演奏を届けたいです。



20周年OBOG演奏会

〈文・毛利 友紀野 (理工学部3回生)〉



大路区民まつり

地域交流

# 体育会ヨット部 チャレンジヨット in Biwako

**本学担当**

体育会ヨット部、  
スポーツ強化オフィス

**主な連携先**

京都府内・滋賀県内の養護学校、特別支援学校 他

**活動期間**

1994年から現在

**主な活動地域・場所**

琵琶湖（大津市柳ヶ崎）

## 活動内容

立命館大学体育会ヨット部は、毎年夏に障がいのある方を対象として「チャレンジヨット」を開催しています。この取組みは体育会ヨット部が日本オリンピック強化の強化指定校に選ばれたことを機会に、障がいのある方にもセーリングの楽しさを体験していただくよう始められたもので今年で24回目を迎えます。参加者は部員とともにヨットに乗りこみ実際に湖面に繰り出し、日頃あまり体験することのできない湖上スポーツを楽しんでいただけるような取組みとなっています。



湖面に繰り出す瞬間

## これまでの成果

毎年春頃から学生が主体となって準備を始めますが、この時期はヨット競技のシーズンで、年間の活動を通じて最も忙しい時期です。しかし、部員同士協力をしながら企画を作り上げていき企画実施後に参加者から感謝の言葉をかけていただいた時には大きな達成感を感じる事ができます。このような達成感や日頃の活動だけでは得ることのできないもので部員にとっても貴重な体験となっています。また、2014年度には、チャレンジヨットの活動が社会的貢献として認められ、国土交通省近畿運輸局より「近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰」を受賞しました。



参加者の笑顔があふれます

## 今後の課題・目標

立命館大学体育会ヨット部は競技戦績だけを目標にするだけでなく、スポーツを通じてどのように社会に貢献していけるかを念頭において日々活動に取り組んでいます。「チャレンジヨット」の取組みはこの理念にもとづいて20年以上も継続して実施をしています。大学のクラブ活動という枠組みにとらわれず、今後も地域社会の方に愛され応援していただけるクラブでありつづけたいと思っています。



学生の活躍



社会・  
地域連携



スポーツ&  
カルチャー

## 地域交流

# 体育会ラグビー部 ラグビークリニック

### 本学担当

体育会ラグビー部、  
スポーツ強化オフィス

### 主な連携先

滋賀県下のラグビースクール、草津市内  
小・中学校 他

### 活動期間

2013年度から現在

### 主な活動地域・場所

BKCグリーンフィールド、  
草津市内小・中学校

## 活動内容

体育会ラグビー部ではラグビーをもっと身近なものに感じていただくことを目的として、毎年滋賀県下のラグビースクールに通う小・中学生を対象としてBKCグリーンフィールドや小・中学校にてラグビークリニックを実施しています。クリニックでは選手と一緒にボールを使う体験会やレクレーション等を行っています。また、選手が実際にトレーニングに使用しているバーベルを持っていただくといった普段あまり体験できないことに触れる機会を設けています。

## これまでの成果

毎年ラグビースクールに通う小・中学生を対象としたラグビークリニックを実施していますが、参加している選手自身も子どもたちと一緒に楽しむことができます。また、マネージャーを中心に各スクールからの要望を踏まえながら企画を検討するプロセスを通じて、部員自身も成長を感じることができる貴重な機会となっています。参加した子供たちの笑顔を見たときの達成感は何ものにも代えがたいです。このような活動を通じて多くの方にクラブの存在を知っていただくことができ、大学の試合にも足を運び、クラブを応援していただくことにもつながっています。

## 今後の課題・目標

ラグビーは他のスポーツに比べるとマイナーな競技であるため、実際に体験することによってもっと身近に感じてもらえるような企画を実施していきたいと思えます。これらの取り組みを通じて部員自身も成長し、地域の方により一層応援していただけるチームを目指しています。



部員と交流する様子



ラグビーを通じて距離が縮まりました

# BKC で活動する学生団体

## 学友会・自治会・中央パート

学友会中央常任委員会  
学友会中央事務局  
全学自治会  
経済学部自治委員会  
理工学部自治委員会  
情報理工学部自治委員会  
生命科学部自治委員会  
薬学部自治委員会  
スポーツ健康科学部自治委員会  
特別事業部BKC支局

## 中央事業体

体育会本部  
体育会本部スポーツ編集局  
学術本部  
学芸総部本部  
立命館大学新聞社  
応援団チアリーダー部  
応援団吹奏楽部  
立命館大学放送局

## 中央任意団体

クイズソサエティ  
民青同盟  
RWF立命館プロレス同好会

## 学術部公認団体

鉄道研究会  
写真研究会  
探検部  
ESS(英語研究会)  
朝鮮文化研究会  
民科経済研究会  
経済科学研究会  
経済学研究会  
音響工学研究会  
物理科学研究会  
立命館コンピュータクラブ  
ライフサイエンス研究会  
数学研究会

## 学術部同好会

飛行研究会ダンデライオン

## 学術部任意団体

聖書研究会シャローム  
草津天文研究会

## 学芸総部公認団体

囲碁研究部  
競技ダンス部  
交響楽団  
混声合唱団メディックス  
写真部  
JAZZ CLUB  
新演劇研究会劇団月光斜  
美術研究部  
クラシックギタークラブ  
茶道研究部  
将棋研究会  
書道部  
メンネルコール  
モダンジャズバレエ部

## 学芸総部同好会

雅楽会  
バトントワリング部  
Free Music Circle PEACE

## 学芸総部任意団体

エレクトンサークル三弾鍵盤  
奇術研究会マジックプレイヤーズ  
Jack & Beans  
Song-genics  
かるた会  
ミステリー研究会  
琵琶湖漫画研究会  
珠算部

## 体育会公認クラブ

アイスホッケー部  
アメリカンフットボール部  
カヌー部  
航空部  
硬式野球部  
山岳部  
水泳部  
スキー部  
スケート部  
ソフトテニス部  
トリアスロン部  
男子バスケットボール部  
ボート部  
ヨット部  
ラグビー部  
男子ラクロス部  
女子ラクロス部  
男子陸上競技部  
女子陸上競技部

## 体育会公認同好会

ウィンドサーフィン同好会 Windward  
フットサル同好会 All.1  
ワンダーフォーゲル同好会

## 理工学部プロジェクト団体

ロボット技術研究会  
飛行機研究会  
内燃機関研究会

## 情報理工学部プロジェクト団体

RiG++ (ゲーム・CG)  
Ri-one (Robo Cup Simulation League)  
RiPPro (プログラミング)

## 薬学部プロジェクト団体

薬学研究会 (やくけんR)

## BKC 登録団体

### 軟式野球・ソフトボール

Brothers  
Donkeys  
PISTONS  
Riffchitz  
Up Stars  
Weeds  
すうい〜とべじたりあん  
立命館 Wild Pitch  
立命館イーグルス  
立命館スラッピー  
立命館ダイナマイツ

### Voots

### サッカー

A (C)  
S.F.C  
Valiant  
ZAULUS  
蹴師

### フットサル

Cherish  
F.C.PEANUTS  
PATTY  
SENCE  
Soleil

### バスケボール

コックローチ  
パイレーツFC  
Dears  
PRIO  
Short Legs  
いちばん星  
ゆっけ

### 硬式テニス

3×3y  
Cloud9  
HIGH BALL  
JACK KNIFE  
LAVATTZ  
Moulin  
SAYU CIR  
Wing Field  
ぶらんでい〜  
硬式庭球同好会  
硬式テニスサークル APOLLO

### ソフトテニス

SOFTEN  
軟式庭球同好会  
バドミントン  
NEXUS  
Power Smash  
TWINKLE

### バレーボール

DRIFTER  
Solidarity  
VERSUS  
レシーブ友の会

### ラグビー

Grassroots  
バーバリアンズ

### その他球技系

9's (ハンドボール)  
aRt-deco (テニス・バドミントン)  
merry's sheep (ドッジボール)  
SUN-BEAR (ゴルフ)  
アルティメットサークル Ludolph  
カウンタードライブ (卓球)

### 武道

弓道サークル  
総合格闘技トラビス  
北道院拳法

### マリンスノー

Dolphin (水泳)  
スキューバダイビングサークル NGIS  
立命館釣り同好会  
540° (スノーボード)  
金太郎スキー同好会  
ホワイトクリスタル (アルパンスキー)

### サイクリング

Rits BIC

花鳥風月

### アウトドア

アイロンの極み乙女。(エクストリームアイロン)  
山歩会 (登山)

### 研究

FES (金融工学)  
経営学研究会  
自然科学ゼミ (科学・実験)  
大川活用プロジェクト支援団体 haconniwa(街づくり)

### 音楽

BRISE MUSIC (軽音)  
Inter Play (ピアノ)  
アコースティックギターサークル  
吹奏楽サークル Fiz  
立命館テクノ部

### 身体表現

BLENDERS (チアダンス)  
Fusion Of Gambit (ダブルダッチ)  
R.D.C.(立命館ダンスサークル)(ストリートダンス)  
streeem! (フラッシュモブ)  
カラーガードサークル LUSTER  
ヨーヨーサークル トリックルーム  
吟詠剣詩舞サークル

### デザイン

C4 (服制作)  
Design Factory (建築デザイン)  
SmarteR (デザイン・ものづくり)

### ボランティア

Reco.lab (環境研究)  
TOM SAWYER (貧困問題)  
ボラっちえ  
国際協力団体 IROHA

### 料理

Sweet Boys  
料理サークル Tri-C

### ゲーム制作

Beat Sense (RPG 制作)  
BKC ポケモンサークル (ゲーム)  
アトラ (ゲーム・CG 制作)

### その他文化系

Moon River (天体観測)  
RICS (サブカルチャー研究)  
Ritsumei Parliamentary Debate Club(ディベート)  
team Rumble Fish(シューティングゲーム)  
Voice&Animation 研究会(声優研究)  
映画制作サークル輪彩  
麻雀同好会〜TACOS〜(麻雀)  
立命館ノバリストクラブ(小説)

(2016年12月現在のデータ)



## BKC地域連携事例リスト

## 正課の活動

プロジェクト名	活動内容	担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
● シチズンシップ・スタディーズⅠ	1回生から誰でも参加できる「サービスラーニング」の演習科目。地域におけるイベントやプロジェクトの現場に参加し、単なる「お手伝い」から活動の「担い手」となるべく活動する。	サービスラーニングセンター	草津市役所、草津街あかり華あかり夢あかり実行委員会、社会福祉法人高島市社会福祉協議会、草津市農業協同組合、草津市国際交流協会	2010年度-現在	草津市 高島市
● 地域参加学習入門	大学以外の場での学び方を学ぶ科目。「学習者」であると同時に、地域に暮らす「生活者」である視点で、世の中の仕組みと自分の関わり方を見つめ直す。	サービスラーニングセンター	草津市、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会	2012年度-現在	草津市
コーオプ演習	正課科目の課題解決型プログラム	キャリア教育センター	琵琶湖汽船株式会社（京阪ホールディングス株式会社）	2016年度	大津市
● シチズンシップ・スタディーズⅡ	個々の作業を担う「グループ」ワークから、各々の役割を果たす「チーム」ワークの視点で、現場と大学とを往復していく実践的な演習科目。「問いを問い直す」「結果から成果を紡ぎ出す」習慣をつけることで、現代を生きる市民の自覚と責任感を養う。	サービスラーニングセンター	桜プロジェクト（桜ヶ丘町内ボランティア団体）	2016年度	草津市
● 湖上で学ぶ・琵琶湖体感・体験クルーズ	BKCの学生が環境学習船「megumi」を活用したツアーによって滋賀の自然や琵琶湖の価値と魅力を知り、学んだ。琵琶湖の価値や直面する課題、琵琶湖と密接にかかわった暮らしの様子を実際に体験。	共通教育推進機構 講師 宮下 聖史	滋賀県琵琶湖保全再生課	2016年度	琵琶湖汽船「megumi」、 沖島、琵琶湖博物館 等
● 「経済学特殊講義Ⅱ（映像製作を通じて考えるキャリアデザイン演習）」	本演習は、読賣テレビ放送株式会社、株式会社エイデック、草津市役所の協力を得て、学生が映像ドキュメンタリーを制作することを通じ、「生きる力」に関連する諸能力を涵養しつつ、現在をどう過ごし、将来をいかに生きるかといったキャリア感を形成することを目的として開講。今年度はBKCの最も身近な地域である草津市を取り上げ、「出会い」があるまち草津」をコンセプトに映像ドキュメンタリーを制作。	経済学部 教授 紀國 洋 教授 中村 健	草津市職員課・企画調整課、読賣テレビ放送株式会社、株式会社エイデック	2016年度	草津市、BKC
サービスラーニング（専門）	体育的行事の企画運営や体育科学の指導補助等に関わる中で、行事運営や学習指導の方法および実践理論についての見識を深める研修プログラム。	スポーツ健康科学部 准教授 上田 憲嗣	草津市教育委員会	2012年度-現在	草津市
インターンシップ	USF Sports Campの企画、予算計画、資金管理、自治体への協力依頼、参加者募集、メディア対応といった一連の過程から事業運営のノウハウを学び、非営利団体である立場からスポーツマーケットを考えることで関係各所の立場や役割を理解する。	スポーツ健康科学部 教授 種子田 穰	一般財団法人 UNITED SPORTS FOUNDATION	2015年度-現在	草津市 BKC
インターンシップ	市民啓発事業の企画立案、実施及び事業評価までを実地に体験し、行政における社会貢献の考え方やそれを実現するためのアプローチ方法を習得する。	スポーツ健康科学部 准教授 小沢 道紀	大津市保健所	2015年度-現在	大津市
インターンシップ	農の体験（地産農産物の栽培や収穫）+食の体験（調理実習）を通じ食の大切さについて学ぶ。	スポーツ健康科学部 教授 海老 久美子	ファーマーズ・マーケット おうみんち、大阪ガス株式会社	2015年度-現在	守山市
インターンシップ	実習を通して、高齢者の身体的・精神的特徴や各サービスの概要を理解する。	スポーツ健康科学部 准教授 小沢 道紀	特定非営利活動法人 ゆうらいふ	2012年度-現在	守山市
インターンシップ	鉄棒やとび箱の経験の浅い或いは比較的得意でない子どもたちに対し、直接指導を行い、体育指導者として必要な資質を習得するサポートをする。	スポーツ健康科学部 教授 長積 仁	公益財団法人 京都 YMCA	2011年度-現在	京都市
インターンシップ	公式戦後期最終戦やイベント企画実施の企画準備段階から当日の運営までに関わり、広報・営業・会計などイベント一連に関する運営補助を行う。	スポーツ健康科学部 教授 種子田 穰	株式会社わかさ生活 女子プロ野球事業部 京都フローラ	2015年度-現在	京都市

## 正課の活動

プロジェクト名	活動内容	担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
インターンシップ	クラブにおけるイベント等の運営補助を行い、活動を通して社会人として必要なコミュニケーション能力を身につける。	スポーツ健康科学部 准教授 小沢 道紀	NPO法人 バニーズ京都SC	2012年度-現在	京都市
インターンシップ	小学生バドミントン全国大会の企画運営、公共スポーツ施設の管理運営、総合型地域スポーツクラブの育成支援など行なっている。	スポーツ健康科学部 教授 長積 仁	公益財団法人 長岡京市体育協会	2013年度-現在	京都府長岡京市
全学インターンシップ	正課科目の全学インターンシップ	サービスラーニングセンター	近江兄弟社高校 単位制課程	2008年度-現在	近江八幡市
全学インターンシップ	正課科目の全学インターンシップ	サービスラーニングセンター	社会福祉法人 びわこ学園医療福祉センター野洲	2008年度-現在	野洲市
全学インターンシップ	正課科目の全学インターンシップ	サービスラーニングセンター	特定非営利活動法人 HCCグループ	2010年度-現在	大津市
全学インターンシップ	正課科目の全学インターンシップ	サービスラーニングセンター	特定非営利活動法人 NPOワイワイあぼクラブ	2006年度-現在	湖南市
全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	株式会社滋賀銀行	2001年度-現在	大津市
全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	大津市議会	2014年度-現在	大津市
全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	株式会社滋賀富士通ソフトウェア	2005年度-現在	大津市
全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	オーバルオブテックス株式会社	2012年度-現在	大津市
全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	ダイハツディーゼル株式会社	2005年度-現在	守山市
全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	草津市役所	2005年度-現在	草津市
全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	日本ソフト開発株式会社	2014年度-現在	米原市
全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	株式会社平和堂	2014年度-現在	草津市・彦根市
学校実践研究	学校現場の教員が担う業務全般の研修を行う。内容は各科目の授業における補助、特別活動、学校行事などの補助やクラブ活動指導など複数項目を組み合わせた研修。	教職教育課	草津市立玉川中学校	2014年度-現在	草津市立玉川中学校
学校実践研究	学校現場の教員が担う業務全般の研修を行う。内容は各科目の授業における補助、特別活動、学校行事などの補助やクラブ活動指導など複数項目を組み合わせた研修。	教職教育課	草津市立玉川小学校	2004年度-現在	草津市立玉川小学校
学校実践研究	学校現場の教員が担う業務全般の研修を行う。内容は各科目の授業における補助、特別活動、学校行事などの補助やクラブ活動指導など複数項目を組み合わせた研修。	教職教育課	草津市立志津南小学校	2005年度-現在	草津市立志津南小学校
学校実践研究	学校現場の教員が担う業務全般の研修を行う。内容は各科目の授業における補助、特別活動、学校行事などの補助やクラブ活動指導など複数項目を組み合わせた研修。	教職教育課	大津市立瀬田小学校	2015年度-現在	大津市立瀬田小学校



# 教育支援・生涯学習支援・地域貢献活動

プロジェクト名	活動内容	担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
健康バンドを使った高齢者向けトレーニング	集会所や市民センターで、気軽にかつ効率的に運動プログラムを実施したいというニーズに応える健康バンドを使った高齢者向けトレーニングを実施。	スポーツ健康科学部 教授 藤田 聡	玉川市民センター 他	2011年度-現在	玉川市民センター 他
草津東高等学校との高大連携プログラム	滋賀県下で唯一体育科を有する草津東高校との高大連携プログラム。スポーツ・健康に関わる科学的な知見を高校生段階でまとめ、成果として発表する。	スポーツ健康科学部 准教授 上田 憲嗣	滋賀県立草津東高等学校	2012年度-現在	BKC、草津東高校
食とスポーツを育む会	滋賀県内にある中学高校のスポーツ指導者が中心となり、スポーツをする子供たちの食事を考え、各々が実践しているノウハウを学び、発信し、子供たちを強く、大きく育てていこうという主旨の地域活動。	スポーツ健康科学部 教授 海老 久美子	滋賀県内の中学校・高等学校運動指導者及び生徒保護者	2011年度-現在	BKC
● 山田学区ウォーキング講習会	「ウォーキングで健康長寿を目指そう」と題した講演会および実技指導を実施。ウォーキングする中で正しいフォームを身につけ、「健康長寿」の街をめざす。	スポーツ健康科学部 教授 田畑 泉	山田学区まちづくり協議会	2015年度-現在	草津市山田学区
● 笠縫東学区健康ウォーキングリーダー講習会	「健康ウォーキング推進者（リーダー）」に対して講習会を実施。区民へウォーキングの習慣を身につけてもらうため、まずはリーダーに取り組んでもらい、街の活性化へとつなげることがねらい。2016年度は実習を中心に実施。	スポーツ健康科学部 教授 家光 素行	笠縫東学区まちづくり協議会	2015年度-現在	草津市笠縫東学区
● 笠縫東学区健康リーダー研修会	全9回の研修会のうちの3回を担当。「健康で心豊かに長生きできるまちづくり」を進めるための研修会。この事業は、「くさつ健康ポイント制度」のポイント対象メニュー（1回3ポイント）。	スポーツ健康科学部 助教 藤本 雅大	笠縫東学区まちづくり協議会	2015年度-現在	草津市笠縫東学区
● 滋賀県地域情報化推進会議	滋賀県地域情報化推進会議の会長として、県のICT推進をとりまとめている。	情報理工学部 教授 仲谷 善雄	滋賀県県民生活部情報政策課	2014年度-現在	滋賀県
教育と生命科学シンポジウム	滋賀県内の教育委員会職員、中学校教職員、生命科学部教職員等を対象としたネットワーク形成を主な目的とするシンポジウム。2016年9月10日（土）BKCにて開催した。	生命科学部 教授 小島 一男	草津未来研究所、 栗東市教育委員会	2016年度-	BKC
危険ドラッグ等薬物乱用防止啓発キャンペーン	危険ドラッグ等薬物の乱用の防止には、規制とともに啓発活動が重要であることから、関係機関（滋賀県、（一社）滋賀県薬剤師会、立命館大学薬学部ほか）で実行委員会を立ち上げ、薬物乱用防止の啓発事業（キャンペーン）に取り組む。	薬学部	滋賀県薬剤師会、滋賀県 他	2015年度-現在 (2016年10月16日に彦根ビバシティでイベント)	県内各所
立命館大学薬学部薬剤師生涯学習セミナー	本学薬学部卒業生の卒業後教育として当セミナーを開催しているが、対象者を本学薬学部卒業生以外も可として、一般の医療関係者にも参加いただいている。	薬学部	滋賀県病院薬剤師会、 滋賀県薬剤師会	2014年度-現在	BKC
滋賀県中学生チャレンジウィーク	中学生の職場体験学習の受入	立命館大学図書館	草津市教育委員会、 大津市教育委員会	2001年度-現在	BKC
Open Library	在学生の休暇期間（夏・春）に滋賀県下及び近隣府県の中学生・高校生を対象として、立命館大学図書館で自習、資料の閲覧、コピーが可能。	立命館大学図書館	立命館大学図書館	2001年度-現在	BKC
学校ボランティア	学校現場におけるボランティア活動。業務内容は各学校で指示された内容（学習補助、特別活動、学校行事の補助、クラブ活動指導など）	教職教育課	草津市内小・中学校	1999年度以前-現在	草津市内小・中学校
学校ボランティア	学校現場におけるボランティア活動。業務内容は各学校で指示された内容（学習補助、特別活動、学校行事の補助、クラブ活動指導など）	教職教育課	大津市立瀬田北中学校	2010年度-現在	大津市立瀬田北中学校
● 玉川小学校「マイドリーム」スペシャル授業 in BKC	本学の講義室で薬学部教員の授業を受けた後、構内見学、食堂にて昼食をとることで、大学生活を体感してもらう。大学への憧れや夢を持ち、今後の学習意欲に繋げてもらうことが目的。2016年度は理工学部も参加。	薬学部創薬科学科 助教 河野 裕允、 理工学部 教授 小西 聡、 立命館グローバル・イノベーション研究機構 准教授 服部 浩二	草津市立玉川小学校	2015年度-現在	草津市立玉川小学校、BKC

●：「おもな事例」として取り上げたもの

# 教育支援・生涯学習支援・地域貢献活動

プロジェクト名	活動内容	担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
● くさつビブリオバトル	参加者がオススメ本を紹介する書評型コミュニケーションゲーム。草津市の小中学校でも積極的に取り組まれており、「みなくさまつり」の一企画として実施。	くさつビブリオバトル 2016実行委員会（実行委員長：生命科学部 准教授 木村 修平、事務局：BKC地域連携課）	草津市教育委員会学校政策推進課	2013年度-現在	草津市
● 滋賀ものづくり経営改善インストラクター養成スクール	滋賀県内の中小企業支援を目的としたものづくり人材育成講座として開講。滋賀県産業支援プラザ内に開設された「滋賀ものづくり経営改善センター」の一事業として実施。	経営学部 教授 善本 哲夫	滋賀県商工政策課、 滋賀ものづくり経営改善センター	2015年度-現在	BKC、滋賀県
● 防災科学研修	科学的に専門性の高い講座を行政職員等が聴講し、より高度な知識・情報を身に付けることで防災施策に生かすことを目的とした研修。2日間にわたる研修において、理工学部教員が講師を担当。	理工学部 教授 川方 裕則 教授 伊津野 和行 教授 里深 好文 教授 深川 良一 教授 吉富 信太 教授 大窪 健之（登壇順）	滋賀県防災危機管理局	2016年度	滋賀県危機管理センター
● 防災カフェ	地震や風水害などの危機管理について、理工学部教員がファシリテーター（司会者）及びゲスト（専門家）を務め実施。参加者との距離が近く、活発な質疑応答が交わされた。	理工学部 教授 深川 良一（ファシリテーター） 教授 里深 好文 助教 藤本 将光 教授 川方 裕則 教授 吉富 信太 教授 伊津野 和行 教授 大窪 健之（以上ゲスト、登壇順）	滋賀県防災危機管理局	2016年度	滋賀県危機管理センター
● 「びわ湖の日」連続講座	滋賀県内の環境に関する課題をみつめなおす機会として3回連続講座を実施。7月1日が「びわ湖の日」と制定されており、滋賀県との包括協定に基づき共同で開催。2016年度は滋賀県の「食」をテーマに開講。	BKC地域連携課	滋賀県琵琶湖保全再生課	2015年度-現在	BKC
● 立命館びわこ講座	課題に積極的に取り組む市民の学習意欲に応えるために、BKC開学以来20年以上続く生涯学習講座。草津市の委託事業としてスタートし、大学の知的資源を生涯学習支援に活かす講座を開講している。2016年度テーマは「近江を学ぶ、草津を識る」。約200名の市民が参加。	BKC地域連携課	草津市教育委員会生涯学習課	1994年度-現在	BKC
● あいこうか生涯カレッジ	地域にある文化財や受け継がれてきた熟練の技を題材とした現地学習から始め、高校での体験学習を経て、大学での専門的な学習へと、会場を移しながら学ぶ連続講座。立命館大学教員が「理論学習講座」講師を担当。	BKC地域連携課	甲賀市教育委員会社会教育課	2015年度-現在	甲賀市、BKC他
● みなくさまつり	JR南草津駅への新快速停車を地域が一体となって取り組み実現したことを機に企画。発展著しい南草津地域に関わる人々がまつりを通じてつながりあうことを目的として2011年から開催。テーマは「えんでつなぐ みなみくさつ」。	BKC地域連携課、BKC学生オフィス、（2016年度参画学生団体：奇術研究会マジックプレイヤーズ、Healing Circle OBAN、ヘルスポ+R、Song-genics、モダンジャズパレ工部、出前ちんどん）	第6回みなくさまつり実行委員会（草津商工会議所、草津市、各町内会・まちづくり協議会 他）	2011年度-現在	JR南草津駅一帯（草津市）
● SO-AIプロジェクト2016～真夏のワクワク体験～	2016年に50周年を迎えた草津青年会議所による青少年育成事業。各学生団体に草津青年会議所の担当者がつき、共に準備を進め8月6日-7日に科学実験やものづくりなどの体験型ブースを展開。	学生団体（奇術研究会マジックプレイヤーズ、草津天文研究会、書道部、ライフサイエンス研究会）、BKC地域連携課	公益社団法人草津青年会議所	2016年度	矢橋嶋帆島公園（イナズマフードグランプリ会場）
● 玉川萩まつり2016	BKCが位置する玉川学区にて「すきです玉川 わたしも参加 つくるよるこび」をスローガンに、教育機関と地域が交流を深め、協働して「子どもたちが健やかに育ち、人が輝く地域づくり」をめざして実施されているイベントに参画。	BKC地域連携課、学生団体（2016年度参画団体：Tri-c、韓国留学生団体、BLENDERS）	玉川萩まつり実行委員会（学区内の町内会、地域団体、玉川幼稚園、小・中学校、高等学校、南消防署 他）	2012年度以前-現在	玉川小学校、玉川市民センター、湖南広域消防局南消防署
● 交通安全キャンペーン	新年度、新学期に主に開催。自転車、バイク通学の学生を中心に交通安全や乗車マナーの啓発活動を実施。こういった取り組みも評価され、2016年6月には「自転車通学安全モデル校」に認定された。（公益財団法人日本交通管理技術協会）	BKC学生オフィス、BKC地域連携課	草津乗東交通安全協会	2010年度以前-現在	草津市

●：「おもな事例」として取り上げたもの

## 教育支援・生涯学習支援・地域貢献活動

プロジェクト名	活動内容	担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
BKC近隣懇談会	BKC近隣の自治会・学区・町内会等の関係者に集まっていただき、BKCの活動についてご理解いただくと共に、意見交換をするなど、近隣の方との交流を深める機会となっている。	BKC地域連携課、BKC学生オフィス、管財課、安全管理課、BKC自治会	近隣学区、学校関係者他	2002年度-現在	BKC
玉川地区交通・安全対策協議会	BKCが立地する玉川学区において安全で安心して生活できることを目指し、地区内の町内会、交通安全協会、小中高等学校、草津市、滋賀県、国、パナソニックアプライアンス社が参加する協議体。これまで、国土交通省の交通社会実験への参加などに取り組んできている。	BKC地域連携課、BKC学生オフィス、BKC自治会	国土交通省大津道路事務所、滋賀県湖南土木事務所、草津市、玉川学区各町内会、パナソニックアプライアンス社	1994年度-現在	草津市
● 環境クリーンウォーキング大作戦	桜プロジェクト内の環境チームや玉川中学校の生徒と共に本学の環境系サークルを中心に近隣のごみ拾い活動を実施。	学生団体（2016年度参加団体：特別事業部、ボラっちょ、Reco.lab）、BKC地域連携課	桜プロジェクト（桜ヶ丘町内ボランティア団体）	2013年度-現在	BKCおよびその周辺
● 第24回参議院議員選挙投票促進啓発活動	BKC構内に期日前投票所が設置されたことから、学生の政治参加、投票促進の観点から草津市選挙管理委員会と学生有志が連携し、投票への啓発活動を実施。選挙年齢が18歳以上に引き下げられた初めての選挙ということも契機となった。	投票促進学生ボランティア（学生有志）、BKC学生オフィス、BKC地域連携課	草津市選挙管理委員会	2016年度	BKC
● 草津市と立命館大学と株式会社滋賀銀行との三者による包括連携に関する協定の締結	大学・金融機関・行政が一体となって連携し、それぞれが持つ知見や情報、資源を活かしていくために、三者での協定締結が実現。地域や企業、大学の抱える課題解決に向けた情報の共有や各種マッチングが図られ、地域の活性化に貢献する。	BKC地域連携課	草津市、株式会社滋賀銀行	2016年度-現在	草津市



●：「おもな事例」として取り上げたもの

## 地域経済社会と連携した研究活動

プロジェクト名	活動内容	担当部署・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
● 立命館大学総合科学技術研究機構 琵琶湖Σ研究センター	本センターでは学部を超えた教員の繋がりで琵琶湖に関連する研究を進めている。年に一回公開シンポジウムを行い、行政や近隣大学、周辺企業から講演者を招き、琵琶湖や周辺環境について議論の機会を設けている。(学内に「ナノびわ」琵琶湖研究用水槽にて水中ロボットの開発を進めている。実際に水中ロボットを用いて琵琶湖の底泥を採取し琵琶湖環境を科学的に調査している。)	BKCリサーチオフィス	(公社) 滋賀県環境保全協会	2010年-現在	BKC、琵琶湖およびその周辺地域
● R-GIRO食料研究拠点	草津、守山でのSOFIX(土壌肥沃度指標)農産物の生産・販売、京都の企業と連携してのスイーツ開発、地域JAと大学生協との連携による「旬菜マルシェ」、食品残渣の堆肥化、湖南農業高校との高大連携など農と食をめぐる地域との多面的な連携を組織した。	BKCリサーチオフィス / R-GIRO食料研究拠点 松原 豊彦	草津市、守山市、JAおうみ富士、JA草津市、イオンスタイル草津、松尾商店、園田ファーム、湖南農業高校、立命館生協	2013年度-現在	草津市、守山市、京都市、BKC
● センターオブイノベーション アクティブ・フォー・オール拠点	文部科学省・科学技術振興機構のセンターオブイノベーションプログラムに採択された。本学では、「アクティブ・フォー・オール拠点」を設立し、多数の企業と共に「運動の生活カルチャー化」をキーワードに革新的な技術の事業化を実施している。本年度はフェーズ2にあたり、社会実装にむけて産学官地で取り組んでいる。	BKCリサーチオフィス	東洋紡(株)、オムロンヘルスケア(株)、パナソニック(株)、大和ハウス(株)、(株)東大阪スタジアム、順天堂大学、草津市、京都市、若狭町、丹波市	2012年度-現在	BKC、OIC(大阪・いばらきキャンパス)、東郷町、若狭町、丹波市、京都
BKC社系研究機構	大津市民を対象とした食品の安全・安心に関するリスクコミュニケーターの育成講座(全13回)を行う。座学による知識の習得だけでなく、事業現場での衛生管理を見学することで意識の向上や理解を深める。最終的には他の市民へ正しい情報発信ができる人材を育成する。	BKCリサーチオフィス	大津市保健所、内閣府食品安全委員会、株式会社岡喜牧場、滋賀県食肉衛生検査所、ロッテ滋賀工場、JA草津	2016年度	大津市
● BKC社系研究機構	単人芋を干して商品化した「きんこ」について、農業経済学の観点から市場調査を行い、得られた結果を元に「きんこ」のマーケティング戦略を立て、商品の安定供給を図る。実際には事業者とのヒアリング、三重大学と本学学生による単人芋の収穫体験、試作品制作とアンケート調査を行い、今後はブランド・コミュニティを活用した販売戦略が期待される。	BKCリサーチオフィス	株式会社三重ティールオー、志摩市、三重大学、	2015年5月1日- 2016年3月20日	志摩市
歴史まちづくり法に基づく草津市のまちづくり	本プロジェクトでは、「歴史まちづくり法」によるまちづくりをめざし、地区の残すべき価値を「歴史的風致」の観点から調査。草津市常盤地区において都市・建築に関する調査・研究を実施。	理工学部・建築都市デザイン学科 教授 及川 清昭 講師 青柳 憲昌	草津市教育委員会文化財保護課、環びわ湖大学地域コンソーシアム	2014年度-現在	草津市
● 「あい土山 道の駅」再生・地域活性化拠点形成計画	道の駅を拠点に地域再生をめざすべく、「寄りたくなる」だけでなく「行きたくなる」道の駅への転換をめざし、地域調査・事例調査等を実施し、地域再生での役割検討と地域再生・地域活性化と地域拠点としての新しい道の駅の展開を検討。	経済学部 客員教授 金井 萬造、 金井ゼミ	甲賀市(政策推進課、観光企画推進室、教育委員会等関係者、観光協会)他	2016年度	甲賀市

● : 「おもな事例」として取り上げたもの

## 学生の課外自主活動

プロジェクト名	活動内容	担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
● 歴史景観の町 近江八幡 インバウンド観光振興プロジェクト	正課外のゼミ活動として、外国人向けに八幡堀とその周辺地域の魅力を紹介する動画を作成・配信し、それが近江八幡の観光振興にもたらす効果を定量的に分析する。	経済学部 教授 寺脇 拓 (寺脇拓ゼミ有志団体)	近江八幡観光物産協会	2016年度	近江八幡市
● 高島地域活性化プロジェクト「高島ワークキャンプ」	滋賀県高島市の地域活性化を目指し、学生ボランティアが高島市内に宿泊し、地域のニーズに合わせたボランティア活動(清掃・雪かき等)を行う。地域住民との交流・協働を通じて様々なことを学ぶ。	サービスラーニングセンター	社会福祉法人高島市社会福祉協議会	2010年度-現在	高島市
● 出あいプロジェクト	キャンパスに最も隣接する志津南学区の地域活動に自由に参加できる課外プロジェクト。清掃活動、スクールガード、子育てボランティア、まちあるき等を実施。	サービスラーニングセンター	志津南学区まちづくり協議会	2015年度-現在	志津南学区(草津市)
● 立命の家	草津市内の小学生を対象に「学ぶ楽しさ」を知ってもらうことを目的として開催。学術系団体の実行委員を中心に企画、運営を行い、2016年度は応募者248名から抽選された小学生121名、保護者50名が参加。	立命の家実行委員会 BKC学生オフィス	草津市内小学校	2001年度-現在	BKC
● パワフル交流・市民の日	草津市の市民活動団体と市民の交流の機会を創出し、明るく住みやすい活気溢れるまちづくりを進めるためのイベントに、課外自主活動団体を派遣。	BKC学生オフィス	草津市コミュニティ事業団	2010年度以前-現在	草津市
歩きスマホ防止啓発ポスター	JR南草津駅、JR草津駅の駅周辺の歩きスマホ防止を駅利用者に呼びかけるポスターの作成に関わって、実態調査などを担当。	Reco.lab(学友会登録団体)	草津市役所建設部 道路課	2016年度	草津市
● 草津をSwingする町へ!!	草津市コミュニティ事業団の「ひとまちキラリまちづくり活動助成」に採用され、玉川高校吹奏楽部と交流を継続的に実施。	JAZZ CLUB Σ Spirits Jazz Society	滋賀県立玉川高等学校 吹奏楽部	2016-2017年度	草津市
● ツリーハウスからはじまるつながりの輪	理工学部建築都市デザイン学科の学びを活かして、兵庫・滋賀・京都の各地にツリーハウスを設計・建設。地域交流の拠点として活用しながらまちづくりに貢献。	学生団体Clown(2016年度学びのコミュニティ集団形成助成金採用団体)	滋賀県米原市 他	2015年度-現在	米原市 他
● 碓石海岸観光まつり	東日本大震災後に、本学と岩手県大船渡市との間で締結した「災害復興に向けた連携協力に関する協定」に基づき、課外自主活動団体を派遣。	災害復興支援室 学生オフィス	岩手県大船渡市	2013年度-現在	岩手県大船渡市
● 熊川いっぶく時代村	八重樫研究室による福井県若狭町熊川地区の地域活性化の取り組みの中で、地域のお祭りやイベントに課外自主活動団体を派遣。	経営学部八重樫研究室 学生部	福井県若狭町	2014年度-現在	福井県若狭町
● ペットボトルキャップ回収を通じた環境保全活動	BKC構内にペットボトルの回収ボックスを設置し、回収したものを循環型社会創造研究所「えこら」の協力のもと換金し、琵琶湖の環境保全のための「びわこの日基金」に募金する等の環境保全活動を実施。	Reco.lab(学友会登録団体)	滋賀県、草津市	2013年度-現在	BKC、草津市

## ボランティア1日体験型プログラム

担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
サービスラーニングセンター	TANAKAMIこども環境クラブ	2012年度-現在	大津市
サービスラーニングセンター	環境レイカーズ	2012年度-現在	近江八幡市
サービスラーニングセンター	近江八幡市余暇支援クラブ「はちの子」	2012年度-現在	近江八幡市
サービスラーニングセンター	特定非営利活動法人 子育て研究会	2012年度-現在	守山市
サービスラーニングセンター	洗濯レトロカフェ	2012年度-現在	大津市
サービスラーニングセンター	大津市障害児サマースクール	2012年度-現在	大津市
サービスラーニングセンター	日本障害者武道普及会	2012年度-現在	草津市

● : 「おもな事例」として取り上げたもの

# ボランティア1日体験型プログラム

担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
サービラーニングセンター	SHIPS 多文化共生支援センター	2012年度-現在	草津市
サービラーニングセンター	在住外国人を支援するボランティアグループ オリブ	2014年度-現在	草津市
サービラーニングセンター	草津市国際交流協会	2016年度	草津市
サービラーニングセンター	特定非営利活動法人 くさつ健・交クラブ	2016年度	草津市
サービラーニングセンター	たまたばやし	2016年度	草津市

## 地域交流活動（留学生）

プロジェクト名	活動内容	担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
● 新宮神社例祭への参加	野路町内会よりお声がけいただき、新宮神社例祭の御神輿の担ぎ手として留学生が壮年会のみなさんと共に汗を流しながら参加。	BKC国際教育センター (BKC国際課)、BKC地域連携課	野路町内会	2012年度以前-現在	草津市野路町
兵主まつりへの参加	毎年5月5日に野洲市の兵主大社で行われる伝統行事兵主まつりのあやめ神輿やあやめ太鼓の担ぎ手として留学生が参加。	BKC国際教育センター (BKC国際課)	兵主大社 (兵主太鼓保存会)	2009年度-現在	野洲市
● 立命館大学内での矢倉小学校との交流活動	草津市の小中学校との交流活動の一環として、矢倉小学校4年生と外国人留学生が国際交流を実施。留学生の母国語の挨拶や母国紹介や、一緒にゲームをして交流した後、BKC内を見学。	BKC国際教育センター (BKC国際課)	草津市教育委員会学校教育課	2016年度	BKC
草津市内小・中学校との交流活動	草津市内小・中学校に本校の留学生を派遣し、小・中学生との国際交流によって、互いに異文化体験をする活動。	BKC国際教育センター (BKC国際課)	草津市教育委員会学校教育課	2011年度-現在	草津市内小・中学校 (例：矢倉小学校、老上小学校)
草津市機能別消防団への参加	2015年度発足した草津市機能別消防団の一員として災害時に外国人のサポートを行う。	BKC国際教育センター (BKC国際課)	草津市役所総合政策部危機管理課	2015年度-現在	草津市
KIFAの日本語ひろばの場所提供	草津市国際交流協会 (KIFA) が留学生向けに実施している「日本語ひろば」の会場提供。本学留学生も多く参加。	BKC国際教育センター (BKC国際課)	草津市教育委員会学校教育課	2010年度-現在	BKC
春の国際交流企画「新入生歓迎BBQ」	新入留学生に滋賀県の魅力を知ってもらうことを目的としゲームなどを交えて行う歓迎イベント。近隣住民も招いてBBQを実施。	BKC国際教育センター (BKC国際課・TISA)	大津市松ヶ丘4、5、6丁目自治会	1994年度-現在	BKC
TISAによる七夕まつり	草津市国際交流協会 (KIFA) と連携し、本学留学生が日本の七夕の習慣などを体験する。	BKC国際教育センター (BKC国際課・TISA)	草津市国際交流協会	2014年度-現在	BKC
● 冬の国際交流企画「異文化フェスティバル」	山形県の農家の方の支援のもと、留学生と日本人学生および国際寮の近隣住民と餅つき体験や本学生のパフォーマンスをみる企画。	BKC国際教育センター (BKC国際課・TISA)	山形県農家、大津市松ヶ丘4、5、6丁目自治会	1996年度-現在	BKC
福むすめ (今宮戎神社)	本学未婚の女子留学生を対象とした、毎年1月9～11日の3日間今宮戎神社で行われる十日戎に関わる行事に参加し、奉仕を行う。	BKC国際教育センター (BKC国際課)	今宮戎神社	2012年度-現在	今宮戎神社 (大阪市)
● BKC国際寮での地域交流イベント	BKCインターナショナルハウスの近隣住民と寮生との交流を目的としたイベント。寮のレジデント・メンター (RM) が企画・実施。	BKC国際教育センター (BKC国際課・BKCインターナショナルハウスRM)	大津市松が丘4、5、6丁目自治会	2012年度-現在	BKCインターナショナルハウス (大津市)
大津市インバウンド推進に向けた外国人モニターツアー	大津市の外国人誘致に向けたモニターツアーを大津市役所・大津市観光協会とともにBKCインターナショナルハウスレジデント・メンターが企画、実施し、BKCインターナショナルハウスの寮生 (外国人留学生) が参加。	BKC国際教育センター (BKC国際課・BKCインターナショナルハウスRM)	大津市役所	2016年度	大津市
● 大津市100回ミーティング	大津市が実施している「大津市100回ミーティング」をBKCインターナショナルハウスで実施し、外国人留学生の行政手続きなどのサポートや大津市の観光について市長と外国人留学生の寮生が話し合った。	BKC国際教育センター (BKC国際課・BKCインターナショナルハウスRM)	大津市役所	2016年度	BKCインターナショナルハウス (大津市)

●：「おもな事例」として取り上げたもの

## 地域交流活動（学生団体）

学生団体名	イベント名	主な連携先	活動地域
BLENDERS（チアダンス）	2015オータムフェスタin矢橋帰帆島公園	特定非営利活動法人ひかりグループ	草津市
dig up treasure（ダブルタッチ）	とっとまつり（豊郷町）	NPO法人アザックとよさと	犬上郡
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	2015高島地域スポーツカーニバル	高島地域体育振興会	高島市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	お楽しみ会	大津市立長等幼稚園	大津市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	クリスマス会	草津栗東守山野洲歯科医師会	滋賀県
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	ダブルタッチ	八幡子どもセンター	近江八幡市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	ダブルタッチで遊ぼう	野洲第3第4学童保育所	野洲市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	ダブルタッチに挑戦！！	ネオペラヴィータ守山子ども会	守山市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	ダブルタッチをしよう	新田会館分館・児童館	草津市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	ダブルタッチをしよう！	馬淵放課後児童クラブ馬っ子	近江八幡市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	ダブルタッチ教室	公益財団法人八尾体育振興会	大阪府八尾市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	ダブルタッチ教室	高島市立朽木東小学校	高島市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	どよう広場	草津市立橋岡会館	草津市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	ニューススポーツバイキング	野洲市教育委員会生涯スポーツ課	野洲市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	のびっ子玉川 春の交流会	のびっ子玉川（玉川区学童保育）保護者会	草津市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	学童保育所行事	中主第三学童保育所	野洲市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	学童保育所行事	中主第二学童保育所	野洲市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	歓送迎会	13区子ども会	近江八幡市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	甲良町スポーツクラブ	甲良町スポーツ推進委員会	犬上郡
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	子供会 お楽しみ会	千代町子供会	守山市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	小学生対象 子ども広場	八幡西子どもセンター	近江八幡市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	小津クラブスポーツフェスタ	小津クラブ	守山市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	新春キッズ祭り	草津市民懇話会	草津市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	草津Winter Festival	Winter Festival実行委員会	草津市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	第46回NSK大津デー（工場祭）	日本精工株式会社大津工場	大津市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	第5回みなくさままつり	みなくさままつり実行委員会	草津市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	平成27年度滋賀県栗東体育館体操フェスティバル	滋賀県栗東体育館	栗東市
Fusion Of Gambit（ダブルタッチ）	平成27年度松ヶ丘2丁目子ども会お楽しみ会	松ヶ丘2丁目子ども会	大津市
Hawaiian Circle meahula（フラダンス）	おまつりはうす	さくらはうす	大津市
Hawaiian Circle meahula（フラダンス）	敬老会	菩提寺区	湖南市
LUSTER（カラーガード）	第47回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	草津市
LUSTER（カラーガード）	第5回みなくさままつり	みなくさままつり実行委員会	草津市
LUSTER（カラーガード）	第60回滋賀県消防大会	滋賀県消防大会（立命館大学後援）	草津市
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	2015オータムフェスタin矢橋帰帆島公園	特定非営利活動法人ひかりグループ	草津市

※2015年度の活動

## 地域交流活動（学生団体）

学生団体名	イベント名	主な連携先	活動地域
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	Go!Go!キッズ「体験！ヒップホップダンス」	大津市立中央公民館	大津市
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	リツクラ（授業・2年生）	草津市立志津南小学校	草津市
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	ルシオールアートキッズフェスティバル2015	守山市／守山市教育委員会	守山市
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	わくわく教室（ストリートダンスを踊ろう）	八幡子どもセンター	近江八幡市
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	学童保育所での夏休みの活動として	三上第1第2学童保育所	野洲市
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	川田町夏の集い	守山市川田自治会	守山市
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	草津Winter Festival	Winter Festival実行委員会	草津市
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	馬池町夏祭り	矢倉馬池町自治会	草津市
モダンジャズバレエ部	平成27年度碁石海岸観光まつり	大船渡市（商工港湾部商工観光課）	岩手県大船渡市
バトントワリング部	ジュニアスポーツフェスティバル2015	草津市教育委員会	草津市
競技ダンス部	社交ダンス同好会チキンウォーク	社交ダンス同好会チキンウォーク	草津市
Ludolph（アルティメット）	ジュニアスポーツフェスティバル2015	草津市教育委員会	草津市
卓球部	Let's Enjoy ～卓球に挑戦～	仰木の里公民館・公民館応援隊	大津市
BRISE MUSIC（軽音楽）	吉永区民夏祭り	湖南省吉永区	湖南省
JAZZ CLUB	NELIS世界大会2015レセプション	一般社団法人NELIS	近江八幡市
JAZZ CLUB	青山8丁目子ども会冬イベント	青山8丁目子ども会	大津市
JAZZ CLUB	大津矯正展	滋賀刑務所	大津市
JAZZ CLUB	第5回みなくさままつり	みなくさままつり実行委員会	草津市
JAZZ CLUB	美の糸ローアートにどぼん！2015	公益財団法人滋賀県文化振興事業団	大津市
PEACE（軽音楽）	玉川萩まつり	玉川学区町づくり協議会「玉川萩まつり実行委員会」	草津市
PEACE（軽音楽）	七夕イベント	琵琶湖ホテル株式会社	大津市
PEACE（軽音楽）	第47回NSK大津デー（工場祭）	日本精工株式会社大津工場	大津市
PEACE（軽音楽）	第5回みなくさままつり	みなくさままつり実行委員会	草津市
PEACE（軽音楽）	野路サマーフェスティバル	野路町内会	草津市
Song-genics（アカペラ）	2017年度オープンキャンパス	立命館大学学生部	草津市
Song-genics（アカペラ）	あさひ保育園父母の会バザー	あさひ保育園父母の会バザー実行委員会	草津市
Song-genics（アカペラ）	キッズフェスティバル2016	滋賀県赤十字血液センター	草津市
Song-genics（アカペラ）	児童育成クラブの活動	のびっ子矢倉	草津市
Song-genics（アカペラ）	じんけんフェスタしが2015	滋賀県総合政策部人権施策推進課	大津市
Song-genics（アカペラ）	第28回かさやまふれあい夏まつり	笠山町町内会・笠山子ども会	草津市
Song-genics（アカペラ）	ピアノカを使用したイベント	滋賀県赤十字血液センター	草津市
Song-genics（アカペラ）	ルシオールアートキッズフェスティバル2015	守山市／守山市教育委員会	守山市
Song-genics（アカペラ）	学童保育所での夏休みの活動として	三上第1第2学童保育所	野洲市
Song-genics（アカペラ）	草津Winter Festival	Winter Festival実行委員会	草津市

※2015年度の活動

## 地域交流活動（学生団体）

学生団体名	イベント名	主な連携先	活動地域
Song-genics（アカペラ）	大津矯正展	滋賀刑務所	大津市
Song-genics（アカペラ）	第54回近畿知的障がい者福祉大会草津大会	草津市教育委員会事務局学校教育課	草津市
Song-genics（アカペラ）	日吉台子ども会歓迎会	日吉台子ども会	大津市
Song-genics（アカペラ）	立命館大学北摂校友会第32回総会	立命館大学北摂校友会	大阪府豊中市
アコースティックギターサークル	ルシオールアートキッズフェスティバル2015	守山市／守山市教育委員会	守山市
アコースティックギターサークル	大路区民まつり	草津第二小学校PTA	草津市
アコースティックギターサークル	第6回地域と誠光会のふれあいのつどい	社会医療法人誠光会草津総合病院	草津市
メンネルコール（男声合唱）	軟式庭球同好会55周年記念大会	軟式庭球同好会OB・OG会	京都市
FLIPPERS（マジック）	6年生を送る会	上笠4区子ども会	草津市
SmarteR（デザイン）	ルシオールアートキッズフェスティバル2015	守山市／守山市教育委員会	守山市
SmarteR（デザイン）	第5回みなくさままつり	みなくさままつり実行委員会	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	6年生を送る会	上笠4区子ども会	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	6年生を送る会・進級祝い会	青山2丁目子ども会	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	ECCジュニア正法寺町教室＆大堀町八口ウィンパーティー	ECCジュニア正法寺町教室	彦根市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	お楽しみ会	今堅田2丁目自治会子ども会	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	お楽しみ会	守山今宿子ども会	守山市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	キッズフェスティバル2016	滋賀県赤十字血液センター	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	クリスマス会	日本正剛館空手道士会大津仰木の里東支部	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	クリスマス会	野洲駅前東子ども会	野洲市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	サマー献血キャンペーン	滋賀県赤十字血液センター	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	児童育成クラブの活動	のびっ子矢倉	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	シャルム大津歓迎会	シャルム大津子ども会	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	スプリングフェスタ	(株)エフエム滋賀	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	スプリングフェスティバル	滋賀県立北大津養護学校	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	第28回かさやまふれあい夏まつり	笠山町町内会・笠山子ども会	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	のびっ子志津保護者会主催夏休みお楽しみ会	滋賀県草津市	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	ピアノカを使用したイベント	滋賀県赤十字血液センター	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	ふくふく夏まつり	草津市立障害者福祉センター	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	ふれあいの集い	下鉤自治会	栗東市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	ホテルde献血	滋賀県赤十字血液センター	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	マジックショー	滋賀県立市立図書館	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	マジックショー！	馬淵放課後児童クラブ馬っ子	近江八幡市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	マジックショー inつちのこクラブ	金田学童保育所つちのこクラブ	近江八幡市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	ゆうYOUフェスタ2015	近江鉄道ゆうグループびわこ文化公園	大津市

※2015年度の活動

## 地域交流活動（学生団体）

学生団体名	イベント名	主な連携先	活動地域
奇術研究会マジックプレイヤーズ	ロジューマン島町自治会クリスマス会	京都ロジューマン島町自治会	京都市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	駅前東自治会夏祭り	野洲市駅前東自治会	野洲市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	夏の思い出会	志賀児童クラブ	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	夏休みふれあい活動	手原子ども会 PTA手原支部	栗東市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	夏祭り	ケアタウン南草津通所リハビリテーション	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	夏祭り	草津保育園	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	花祭り in 勝光寺	勝光寺	京都市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	宮町子ども会クリスマス会	宮町子ども会	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	栗栖町地藏盆	栗栖町町内会	京都市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	敬老の集い	湖州平自治会	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	敬老会	ローレルコート堅田自治会	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	敬老会	青山7丁目自治会	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	敬老会	菩提寺区	湖南市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	講演会	長法寺小学校区青少年健全育成推進協議会	京都府長岡京市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	高良神社堤灯点灯式	石清水八幡宮青年会	京都府八幡市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	高齢者サロン	北川ニュータウン自治会	守山市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	高齢者ふれあいサロン（ひなまつりサロン）	草津学区社協	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	子どもの居場所づくり	堅田学区社会福祉協議会	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	子ども会クリスマス会	雲雀ヶ丘自治会子ども会	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	市民ふれあい秋まつりinくさつ・パワフル市民交流の日	草津市コミュニティ事業団	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	治田西FCクリスマス会・忘年会	治田西FC(治田西小学校フットボールクラブ)	栗東市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	自治会クリスマス会	秋葉台自治会子ども会	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	新店舗オープンイベント	Honda Cars滋賀西草津店	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	神領下宮町 感謝祭	神領下宮町自治会	野洲市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	親睦会	松ヶ丘3丁目子ども会	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	瀬田北小学校フェスティバル	瀬田北小学校PTA	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	青山シニアサロン「楽々会」	青山地区民生委員児童委員協議会	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	石山夜一	石山商店街振興組合	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	草津納涼祭り	草津納涼祭り実行委員会	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	大津矯正展	滋賀刑務所	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	大路区民まつり	草津第二小学校PTA	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	第16回熊川いっぴく時代村	熊川いっぴく時代村実行委員会	福井県若狭町
奇術研究会マジックプレイヤーズ	第3回水辺のクリスマスイベント	琵琶湖河川事務所	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	第47回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	草津市

※2015年度の活動

## 地域交流活動（学生団体）

学生団体名	イベント名	主な連携先	活動地域
奇術研究会マジックプレイヤーズ	第54回近畿知的障がい者福祉大会草津大会	草津市教育委員会事務局学校教育課	草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	地蔵盆	前ノ田町南部自治会	京都市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	地蔵盆	荘司町町内会	京都市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	地蔵盆	大津市若葉台自治会	大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	納涼祭	堀切自治会	東近江市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	竜西フェスティバル	竜王西小学校	蒲生郡
ヨーヨーサークルトリックルーム	自治会クリスマス会	秋葉台自治会子ども会	大津市
ヨーヨーサークルトリックルーム	草津養護学校秋まつり	県立草津養護学校秋まつり実行委員会	草津市
ヨーヨーサークルトリックルーム	立命館小学校プライマリーデー	立命館小学校 保護者会	京都市
沖縄芸能研究会さじむな	草津市民センターやすらぎ学級	草津市民センター	草津市
吟詠剣詩舞サークル	ふれあいの集い	下鉤自治会	栗東市
吟詠剣詩舞サークル	第47回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	草津市
写真研究会	第47回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	草津市
出前ちんどん	第16回熊川いっぶく時代村	熊川いっぶく時代村実行委員会	福井県若狭町
書道部	じんけんフェスタしが2015	滋賀県総合政策部人権施策推進課	大津市
書道部	第47回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	草津市
将棋研究会	リックラ（クラブ活動・ボードゲーム）	草津市立志津南小学校	草津市
将棋研究会	将棋に親しむ	野洲第一学童保育所	野洲市
将棋研究会	第47回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	草津市
新演劇研究会劇団月光斜	東稜祭クラス演劇に向けた演技指導	京都府立東稜高等学校	京都市
人形劇団ふうせんのり	ほたるまつり	下弘部区文化部	高島市
茶道研究会	夕照庵 秋の茶会	びわこ文化公園 茶室夕照庵	大津市
琵琶湖漫画研究会	ルシオールアートキッズフェスティバル2015	守山市/守山市教育委員会	守山市
美術研究部	栗東市子どもフェスタ	栗東市子どもフェスタ実行委員会	栗東市
美術研究部	草津納涼まつり	草津納涼まつり実行委員会	草津市
美術研究部	第47回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	草津市
落語研究会	栗東市はつらつ教養大学	栗東市教育委員会 生涯学習課	栗東市
落語研究会	敬老のつどい・落語を聴こう	上笠第3ほっとサロン	草津市
落語研究会	敬老会	下鉤自治会	栗東市
落語研究会	五個荘中町 ふれあいフェスティバル	東近江市五個荘中町自治会	東近江市
落語研究会	高齢者ふれあいサロン（ひなまつりサロン）	草津学区社協	草津市
落語研究会	年忘れ懇親会	よろこび会（老人会）	栗東市
和太鼓ドン	第28回かさやまふれあい夏まつり	笠山町町内会・笠山子ども会	草津市
和太鼓ドン	第16回熊川いっぶく時代村	熊川いっぶく時代村実行委員会	福井県若狭町

※2015年度の活動

## 地域交流活動（学生団体）

学生団体名	イベント名	主な連携先	活動地域
ヘルスポ+R	第5回みなくさままつり	みなくさままつり実行委員会	草津市
ライフサイエンス研究会	6先生・新1年生歓迎会	吉身東乙子ども会	守山市
ライフサイエンス研究会	6年生を送る会	かがやきの丘子ども会	草津市
ライフサイエンス研究会	AP栗東クッキングプラザカルチャー教室	(株)平和堂	彦根市
ライフサイエンス研究会	おもしろ科学実験	真野北学区土日対策実行委員	大津市
ライフサイエンス研究会	グリーンフォート長岡京夏祭り	グリーンフォート長岡京夏祭り実行委員会	京都府長岡京市
ライフサイエンス研究会	クリスマス会	レックス子ども会	野洲市
ライフサイエンス研究会	スプリングフェスタ	(株)エフエム滋賀	大津市
ライフサイエンス研究会	ひびきあいフェスティバル	石部南小学校PTA	湖南市
ライフサイエンス研究会	リックラ（授業・3年生）	草津市立志津南小学校	草津市
ライフサイエンス研究会	わくわく子どもひろ場 スペシャル	草津市クリアホール	草津市
ライフサイエンス研究会	夏休み体験講座「科学に挑戦（科学遊び）」	大津市田上児童館	大津市
ライフサイエンス研究会	科学実験	篠原学童保育所	野洲市
ライフサイエンス研究会	危険ドラッグ等薬物乱用防止啓発キャンペーン	一般社団法人滋賀県薬剤師会	草津市
ライフサイエンス研究会	子ども会 歓迎会	市三宅子ども会	野洲市
ライフサイエンス研究会	子ども会夏のイベント	シャリエ大津朝日が丘子ども会	大津市
ライフサイエンス研究会	春祭り	醍醐石田団地自治会	京都市
ライフサイエンス研究会	小学生のスーパーサイエンス瀬田東	大津市立瀬田東公民館	大津市
ライフサイエンス研究会	第47回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	草津市
ライフサイエンス研究会	第54回近畿知的障がい者福祉大会草津大会	草津市教育委員会事務局学校教育課	草津市
ライフサイエンス研究会	地藏盆	庄山東子供育成会	大津市
ライフサイエンス研究会	南郷っ子 わくわくランド	大津市立南郷公民館	大津市
ライフサイエンス研究会	平成27年度碁石海岸観光まつり	大船渡市（商工港湾部商工観光課）	岩手県大船渡市
ライフサイエンス研究会	立命館大学サークル冬の連携ウィーク	草津市立志津南小学校	草津市
ロボット技術研究会	大路区民まつり	草津第二小学校PTA	草津市
ロボット技術研究会	第5回みなくさままつり	みなくさままつり実行委員会	草津市
音響工学研究会	リックラ（授業・6年生）	草津市立志津南小学校	草津市
数学研究会	リックラ（授業・5年生）	草津市立志津南小学校	草津市
草津天文研究会	リックラ（授業・4年生）	草津市立志津南小学校	草津市
草津天文研究会	夏の星座学習会	草津市まちづくりセンター運営センター	草津市
草津天文研究会	新一年生の歓迎会	新南笠子ども会	草津市
飛行機研究会	リックラ（授業・1年生）	草津市立志津南小学校	草津市
飛行機研究会	飛行機に興味を持とう	野洲第一学童保育所	野洲市
立命館コンピュータークラブ	リックラ（クラブ活動・コンピュータ）	草津市立志津南小学校	草津市

※2015年度の活動

## 地域交流活動（学生団体）

学生団体名	イベント名	主な連携先	活動地域
RBC（立命館大学放送局）	第47回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	草津市
RBC（立命館大学放送局）	第6回地域と誠光会のふれあいのつどい	社会医療法人誠光会草津総合病院	草津市
RBC（立命館大学放送局）	第9回青山学区文化祭	大津市青山学区自治連合会人推協「青山学区文化祭事務局」	大津市
応援団	第47回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	草津市
応援団	立命館大学滋賀県校友会 総会	立命館大学滋賀県校友会	大津市
応援団	立命館大学奈良県校友会 2015年校友総会	立命館大学奈良県校友会	奈良県桜井市
応援団チアリーダー部	ジュニアスポーツフェスティバル2015	草津市教育委員会	草津市
応援団チアリーダー部	チアリーディング演技指導	野路コミュニティセンター	草津市
応援団チアリーダー部	ふれあいまつり・矢倉	矢倉学区未来のまち協議会	草津市
応援団チアリーダー部	玄甫町夏祭り納涼祭	玄甫町内会	草津市
応援団チアリーダー部	第47回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	草津市
応援団チアリーダー部	平野村まつり	上田上平野自治会	大津市
応援団吹奏楽部	川ノ下納涼祭（盆踊り）	野路川ノ下町内会	草津市
応援団吹奏楽部	草津Winter Festival	Winter Festival実行委員会	草津市
特別事業部	クサツハロウィン2015	クサツハロウィン実行委員会	草津市
特別事業部	第28回かさやまふれあい夏まつり	笠山町町内会・笠山子ども会	草津市



※2015年度の活動

## 地域交流活動（体育会団体）

部活名	プロジェクト名	活動内容	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
アメリカンフットボール部	フラッグフットボールチーム「草津リトルパンサーズ」の活動支援	草津市内小・中学校のフラッグフットボールチームとの交流、技術指導	フラッグフットボールチーム「草津リトルパンサーズ」	1998年度-現在	草津市
アメリカンフットボール部	ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU（BKCキャンパス利用の交流イベント）	スポーツ体験交流イベントサポート	草津市教育委員会 スポーツ保健課	2009年度-現在	草津市 他
アメリカンフットボール部	小学校訪問「Play with Panther」	滋賀県下小学校でのフラッグフットボール体験の実施	草津市立矢倉小学校 他	2010年度以前-現在	草津市、栗東市
アメリカンフットボール部	リックラ	大津市の小学校教員への指導講習及び小学生とのフラッグフット交流会の実施	大津市立晴嵐小学校	2010年度以前-現在	大津市晴嵐小学校
アメリカンフットボール部	フラッグフット講習会	附属校とのフラッグフット交流会	立命館小学校	2012年度	立命館小学校
アメリカンフットボール部	「Panther Development Volunteer」	選手の自主的ボランティア活動		2013年度-現在	草津市 他
● 男子ラクロス部	ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU（BKCキャンパス利用の交流イベント）	スポーツ体験交流イベントサポート	草津市教育委員会 スポーツ保健課	2010年度以前-現在	BKCクインススタジアム
男子バスケットボール部	Ritsumeikan-Cup	京都府及び滋賀県下の中学校のバスケットボールチームとの交流試合及び技術指導	滋賀県内の中学校チーム 他	2005年度-現在	BKC
男子バスケットボール部	学生指導者派遣	学生コーチによる技術指導	草津市立玉川中学校 他		草津市、野洲市 他
男子バスケットボール部	滋賀県バスケットボール協会への協力	審判技術向上のための試合の部員参加	滋賀県バスケットボール協会		大津市、草津市 他
男子陸上競技部	草津少年少女陸上教室	草津少年少女陸上教室参加者との交流	草津市陸上競技協会		BKC
● 男子陸上競技部	草津市駅伝競走大会	監察員等大会運営の補助および駅伝参加	草津市教育委員会、公益社団法人草津市体育協会		BKC
● 男子陸上競技部	ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU（BKCキャンパス利用の交流イベント）	スポーツ体験交流イベントサポート	草津市教育委員会 スポーツ保健課	2011年度-現在	BKCクインススタジアム
● 女子陸上競技部	ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU（BKCキャンパス利用の交流イベント）	スポーツ体験交流イベントサポート	草津市教育委員会 スポーツ保健課	2011年度-現在	BKCクインススタジアム
ボート部	Ritsレガッタ	地域住民と部員のチームによるボートレース大会の実施	瀬田漕艇クラブ 他	2005年度-現在	琵琶湖漕艇場
● ヨット部	チャレンジヨット in Biwako	障がいのある方を対象としたヨット体験イベントの実施	京都府内・滋賀県内の養護学校、特別支援学校等	1994年度-現在	琵琶湖（大津市柳ヶ崎）
ラグビー部	立命館ラグビーフェスティバル	草津市のラグビースクール参加者向けのラグビークリニック実施	近隣のラグビーキッズスクール	2014年度-現在	BKCクインススタジアム
ラグビー部	関西タグラグビーフェスティバル	長浜市で行われる大会での児童・生徒とのタグラグビー参加	関西ラグビーフットボール協会	2015年度-現在	滋賀県立長浜ドーム
● ラグビー部	ラグビークリニック	地元の児童・生徒向けのラグビークリニック実施	草津市立志津小学校	2013年度-現在	草津市立志津小学校
● ラグビー部	ラグビークリニック	地元の児童・生徒向けのラグビークリニック実施	大津ラグビースクール、The Antsクラブチーム	2013年度-現在	BKCグリーンフィールド
● ラグビー部	ラグビークリニック	児童向けのラグビークリニック実施	立命館小学校	2014年度-現在	立命館小学校
● ラグビー部	ラグビークリニック	地元の児童・生徒向けのラグビークリニック実施	地域の児童・生徒	2014年度-現在	西京極総合運動公園（京都市）
● ラグビー部	ラグビークリニック	地元の児童・生徒向けのラグビークリニック実施	大阪ラグビースクール	2015年度-現在	BKCグリーンフィールド
● ラグビー部	ラグビークリニック	地元の児童・生徒向けのラグビークリニック実施	北見市立東相内小学校	2013年度-現在	北見市
ラグビー部	ふれあい活動	合宿先でのふれあい活動	特別養護老人ホームはくちょう	2014年度-現在	北見市

●：「おもな事例」として取り上げたもの

# 索引 (主な連携先)

## 滋賀県内

滋賀県	11、15、19、21、22、26、37、54、58、60、61、62、63、64、66、67、68、70
草津市	8、9、10、11、12、14、16、17、18、23、24、25、27、33、34、35、36、37、41、42、 45、47、48、49、50、51、52、53、55、58、59、60、61、62、63、64、65、66、67、68、 69、70、71、72、73
大津市	44、46、58、59、60、62、63、65、66、67、68、69、70、71、72、73
守山市	27、63、66、67、68、69、70、71
栗東市	60、61、68、69、70
野洲市	66、67、68、69、70、71
甲賀市	20、30、61、63
湖南市	66、67、69、71
東近江市	70
近江八幡市	31、64、66、67、68
竜王町	70
甲良町	66
米原市	38、64
高島市	13、32、58、64、66、70

## 滋賀県外

北海道北見市	73
岩手県大船渡市	39、64、67、71
福井県若狭町	40、63、64、69、70
三重県志摩市	27、29、63
京都府	54、70
京都市	38、63、69、70、71
京都府長岡京市	59、69、71
京都府八幡市	69
大阪府八尾市	66
兵庫県丹波市	38、63

# 索引 (主な活動地域)

## 滋賀県内

滋賀県	15、21、22、26、58、60、61、63、66、73
草津市	8、9、10、12、14、17、23、24、25、27、33、35、36、37、41、42、45、47、48、49、 52、55、58、59、60、61、62、63、64、65、66、67、68、69、70、71、72、73
大津市	54、58、59、60、63、64、65、66、67、68、69、70、71、72、73
守山市	27、58、59、63、64、66、67、68、69、70、71
栗東市	66、68、69、70、73
野洲市	59、65、66、67、68、69、70、71、73
甲賀市	30、61、63
湖南市	59、66、67、69、71
東近江市	70
近江八幡市	31、59、64、66、67、68
竜王町	70
彦根市	59、68、71
豊郷町	66
甲良町	66
米原市	38、59、64
高島市	13、32、58、64、66、70

## 滋賀県外

北海道北見市	73
岩手県大船渡市	39、64、67、71
福井県若狭町	28、40、63、64、69、70
愛知県愛知郡東郷町	28、63
三重県志摩市	29、63、
京都市	38、58、59、63、68、69、70、71、73
京都府長岡京市	59、69、71
京都府八幡市	69
大阪府大阪市	65
大阪府豊中市	68
大阪府八尾市	66
兵庫県丹波市	38、63
奈良県桜井市	72
<b>BKC</b>	9、10、11、14、16、18、19、20、26、28、34、36、37、42、43、44、46、50、51、52、 (びわこ・くさつキャンパス) 53、55、58、60、61、62、63、64、65、73
<b>OIC</b>	28、53、63
(大阪いばらきキャンパス)	

# 学生団体との地域交流のお申込みについて

## 「地域交流」とは

立命館大学では、多くの課外自主活動団体が、活動の場をキャンパスから地域へ展開しています。地域交流とは、本学に所属する学生による課外自主活動団体が、演奏、発表などを通して、地域の皆様と交流を行い、相互の発展を目指すものです。学生団体への依頼を希望される際には、下記事項をご理解いただき、お申し込みいただけますようよろしくお願いいたします。

## 実施に至るまでの流れ



## ご留意いただきたい事項

1. 原則として、利益を目的とする取り組みはお断りさせていただいております。
2. 地域交流をお申込の際は、スケジュールに余裕を持ってお申込みください。参加の可否連絡は、最低2週間を見込んでください。
3. 時期によっては、学業や定期試験等でご依頼をお引き受けできない場合がございますので ご了承ください。
4. 「課外活動による地域交流申込書」には、ご記入漏れがないようにご注意ください。
5. 課外活動団体が参加させていただく際に必要となる実費（交通費・食費・運搬費・材料費など）については、ご依頼先でご負担いただけますようお願いいたします。
6. 実費以外の謝礼については、ご予算に応じてお支払いください。金額の設定等はいたしておりません。
7. 最寄駅から実施場所までの送迎が無い場合は、地図を添付してください。
8. 課外活動団体の参加が確定しましたら、詳細については、学生と直接お打合せください。
9. 開催内容に変更が生じた場合は、速やかに学生オフィスまでご連絡をお願いします。

## ご連絡先・お申込

申込書は右ページをコピーしてご利用いただくか、下記本学ホームページよりファイルをダウンロード、プリントアウトしてご記入いただき、FAXにてお送りいただくか、データをメールに添付の上、下記アドレスまでお送りください。

立命館大学 衣笠学生オフィス FAX：075-465-8169 koryu-k@st.ritsumei.ac.jp

立命館大学 BKC学生オフィス FAX：077-561-3954 koryu-b@st.ritsumei.ac.jp

立命館大学 OIC学生オフィス FAX：072-665-2139 koryu-o@st.ritsumei.ac.jp

## 立命館大学ホームページ「学生との地域交流のご案内」

[http://www.ritsumei.ac.jp/community\\_affiliations/chiiki/](http://www.ritsumei.ac.jp/community_affiliations/chiiki/)

（または「立命館大学 地域交流」で検索）



# アクセスマップ



# アクセス方法

京阪 中書島駅	直行便バス		
	約35分 平日 中書島発15便 大学発14便 (学休日、土日祝は運行しません)		
JR 大阪駅	JR	JR 南草津駅	近江鉄道バス 約20分 〔立命館大学行き〕 または 立命館大学経由 〔飛島グリーンヒル行き〕
JR 京都駅	JR		
JR・近鉄 奈良駅	JR・近鉄 (京都駅経由) 約70分		
JR 三ノ宮駅	JR		

立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

## ■京阪中書島駅から

直行便バスにて約35分 ※学休日、土日の運行はしません。

## ■JR 南草津駅から

南草津駅東口ロータリー 近江鉄道バス「立命館大学行き」または立命館大学経由「飛島グリーンヒル行き」に乗り換え約20分

**立命館大学びわこ・くさつキャンパス地域連携事例集 2016.4-2017.3**

2017年3月 発行

---

立命館大学総務部 BKC地域連携課

525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1

電話 077-561-5918

ファックス 077-561-2619

HP [http://www.ritsumei.ac.jp/community\\_affiliations/](http://www.ritsumei.ac.jp/community_affiliations/)

(または「立命館大学 社会・地域連携」で検索)



RITSUMEIKAN

立命館大学 総務部 BKC 地域連携課

〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1

TEL 077-561-5918